

# 年 報

第10号

平成 26 年 7 月

国立大学法人香川大学総合情報センター

# 目 次

巻頭言 .....	最所圭三 .....	1
<b>解説</b>		
端末認証システムについて .....	高橋岳水, 川田延枝, 多田志乃舞 .....	3
ソフォスアンチウイルス包括ライセンスの締結について .....	八重樫理人, 渡部周平 .....	5
<b>活動報告</b>		
新〔情報処理+情報通信〕システムの概要 .....	最所圭三, 今井慈郎, 林敏浩, 八重樫理人, 堀幸雄, 瀬野芳孝, 曾根計俊, 川口政秀, 土居敬典 .....	9
知プラ e 事業 香川大学の取り組み報告 .....	村井礼, 岩城暁大, 裏和宏, 林敏浩, 末廣紀史 .....	16
ヘルプデスクこの1年 .....	瀬野芳孝 .....	21
AS 番号の取得と I R R への登録 .....	瀬野芳孝 .....	27
<b>寄稿</b>		
建物平面図でみる総合情報センターの歴史 .....	瀬野芳孝 .....	31
<b>業務報告</b>		
平成24年度パソコン室利用統計 .....		47
平成24年度総合情報センターPC利用実績 .....		51
平成25年度パソコン室利用統計 .....		56
平成25年度総合情報センターPC利用実績 .....		60
平成24年度・平成25年度開催の会議および行事 .....		65
センター関係会議委員・スタッフ一覧 .....		70
<b>資料</b>		
香川大学総合情報センター規程 .....		73
香川大学総合情報センター会議規程 .....		75
香川大学総合情報センター利用規程 .....		77
香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則 .....		81
香川大学キャンパス情報ネットワーク運営細則 .....		83
香川大学総合情報センター専門委員会規程 .....		86
編集後記 .....		87



## 巻頭言

総合情報センター長 最所圭三

総合情報センター長に就任してからはや半年がたとうとしています。総合情報センターとは情報処理センターを称していた頃から兼任教員、総合情報センター専門委員、総合情報センター会議委員などの形で10年以上も関わってきましたが、このたびセンター長として責任のある立場に立つことになり、身の引き締まる思いです。

現在のネットワークおよびコンピュータシステムは2年前に更新しました。その際、学生メールのGmail化、サーバの仮想化、セキュリティの向上を目指した学内LANの導入などがありました。また、全学で利用できるウィルス対策ソフトの導入、ヘルプデスクの充実、オープンスペースの設置などによりサービス面の向上をはかってきました。本年報ではこれらに加え四国内の大学間の教育の連携事業やBCP対策などについて紹介します。

最後に、今後は日々進歩するICT技術を取り入れ、利用者に対してよりよいサービスができるよう努力していきたいと思っております。



# 解 説



# 端末認証システムについて

医学部 高橋 岳水 川田 延枝 多田 志乃舞

大学内のネットワークには大学資産の機器の他、学生や教職員所有のパソコンやモバイル機器が接続される環境にあり、不正接続の防止が課題です。端末認証システムは許可された機器や利用者のみがネットワークを利用できるように制御する仕組みです。

総合情報センターでは2012年10月に端末認証システムを「オープンネット・ガード」に更新しました。このシステムの紹介と医学部キャンパスでの運用について報告します。

## (1) 端末認証システムについて

ネットワークへの不正接続は情報漏洩や、ウイルスの侵入、リソースの悪用などの要因となります。端末認証システムは機器のネットワークインターフェイスが持つ固有の MAC アドレスやユーザ ID/パスワード、電子証明書などを使い不正接続を防止します。

オープンネット・ガード (以下 ONG) は MAC アドレスでの認証 (以下 MAC 認証) に対応するシステムです。運用開始前に MAC アドレスを収集する機能や CSV による一括登録する機能、運用開始後には接続状況を確認する事ができるレポート機能などがあります。

## (2) 端末認証システム (ONG) の構成

ONG は登録管理サーバ 1 台と DHCP、RADIUS サーバそれぞれ 2 台で構成しています。(図 1) 登録管理サーバでは LDAP と連携し、MAC アドレスを全学レベルで一元管理しています。また、その情報は DHCP、RADIUS サーバにも共有されています。

DHCP サーバは登録機器のみに IP アドレスを払い出します。また、登録がない機器は設定により制限されたネットワーク (VLAN) に割り当てが可能です。RADIUS サーバは Web 認証、MAC 認証に対応し、認証スイッチと連携して、不正接続を防止します。

DHCP と RADIUS サーバは冗長構成で幸町キャンパスにプライマリサーバ、医学部キャンパスにセカンダリサーバを配置しています。平常時は、プライマリサーバとセカンダリサーバで分散処理し、万一片側のサーバがダウンした場合は、残るサーバで継続処理されます。



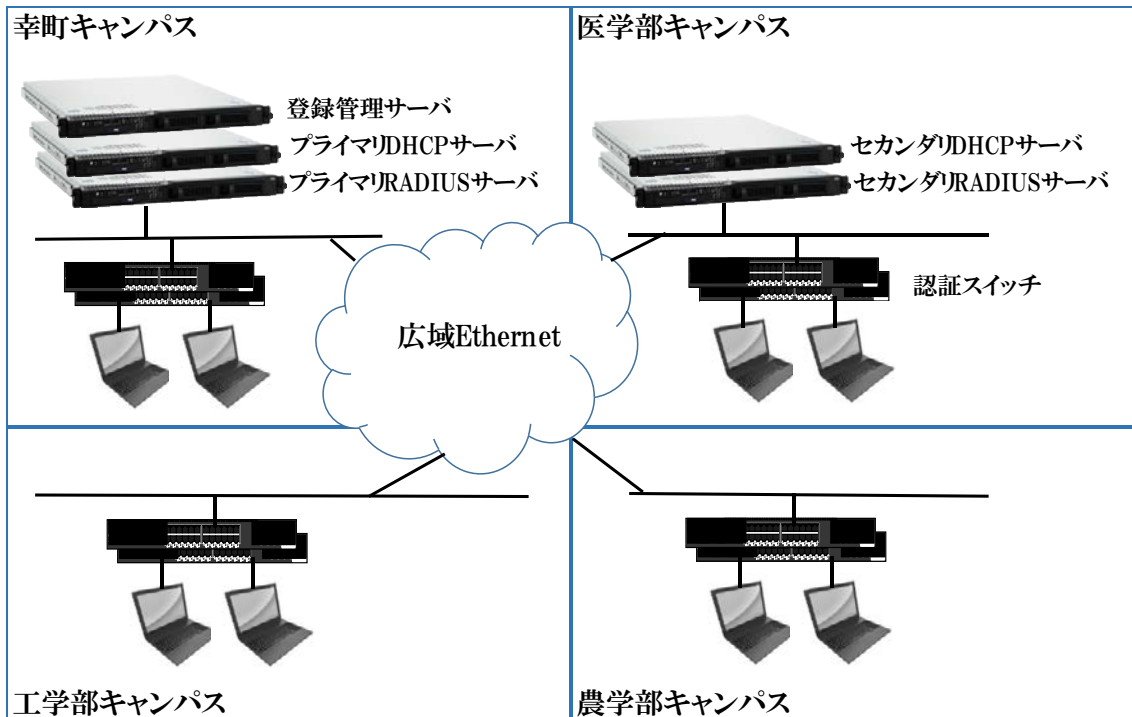


図1 端末認証システム構成

### (3) 医学部キャンパスでの運用

医学部キャンパスでは、有線ネットワークは認証スイッチと ONG の連携による MAC 認証で運用しています。認証スイッチは下位に認証機能のないスイッチが接続された環境でも対応できる製品を使用することで、認証漏れや接続トラブルを防止しています。

無線ネットワークは ONG の MAC 認証 DHCP で運用しています。登録がない機器は IP アドレスを払い出さず、また、意図的に固定 IP アドレスを設定しても接続できません。ウイルス対策ソフトをネットワーク経由でインストールする必要がある機器は、管理者が一旦、制限されたネットワークに割り当て、インストール完了後に通常の無線ネットワークに変更する対応を実施しています。

医学部キャンパスではセキュリティ対策のため機器のネットワーク接続申請を書面のみで受付けています。また、その際にウイルス対策ソフトの確認も実施しています。医学部キャンパスでは他のキャンパスと異なる運用をしていますので、他のキャンパスで登録された機器でも改めて接続申請が必要となっています。

# ソフォスアンチウイルス包括ライセンスの締結について

八重樫理人 渡部周平

## 1. はじめに

2013年4月、香川大学はソフォス社とアンチウイルスソフトの包括ライセンス契約を締結した。このソフォスアンチウイルス包括ライセンスは、香川大学の教職員および学生全員が利用可能であり、大学所有のコンピュータだけでなく、自宅など学外で利用するコンピュータにもインストールすることが可能である。本稿では、香川大学が締結したソフォスアンチウイルスの包括契約について述べるとともに、アンチウイルスソフトのダウンロード数に基づいた利用状況調査の結果について述べる。

## 2. ソフォスアンチウイルスについて

(表1) アンチウイルス包括ライセンスを提供するベンダー4社における違い

	Sophos	A社	B社	C社
インストール台数の制限	台数制限無し	大学資産 PC : 台数制限無し 個人所有 PC : 1人1台まで	台数制限無し	大学資産 PC : 台数制限無し 個人所有 PC : 1人3台まで
大学離籍後のソフトウェアの使用	継続利用可能	継続利用不可 アンインストールが必要	継続利用不可 自動的に定義ファイル更新不可となる	継続利用不可 自動的に製品利用不可となる
英語版 OS への対応	有り (Windows, Mac, Linux)	有り (Windows, Mac, Linux)	無し	無し
中国語版 OS への対応	有り (Windows)	有り (Windows, Mac, Linux)	無し	無し

ソフォス社のアンチウイルス包括ライセンス規約においては、大学構成員一人につき何台でもソフトウェアをインストール可能である。このルールは、私費で購入し、自宅で使用するコンピュータにも適用される。加えて、卒業や退職などで大学から籍が外れた後も継続してソフトウェアを利用することが認められている。

ソフォスは、英語版 OS および中国語版 OS に対応するアンチウイルス製品を提供している。一方、香川大学は、平成 25 年 5 月 1 日時点で計 188 名の外国人留学生を受け入れている。本学に在籍している外国人留学生の 90%以上がアジア出身者であり、そのうち 60%が中国出身であることから、ソフォスアンチウイルスは、本学の留学生受入れ状況に即した製品であるといえる。

ソフォスアンチウイルス包括契約では、各コンピュータにインストールするソフトウェアだけでなく、それらを管理者側で集中管理するためのツールも含めて提供している。これまで、本学には、学内コンピュータ群におけるアンチウイルスソフトの設定および動作状況を一元的に把握する手段がなかった。包括契約を機に、大学内に集中管理用のサーバおよびソフトウェアを導入することで、管理下にあるコンピュータ群のソフトウェアエンジンおよびウイルスパターンファイル更新状況、ポリシー設定、ウイルス検知／対処情報等を単一のコンソールから一括管理する体制を構築することができた。

### 3. ダウンロード数による利用状況調査

香川大学では、2013年3月～2014年2月の12ヶ月で、計4,236回のソフォスアンチウイルスのダウンロードが行われている。一度ダウンロードしたインストーラは複数のコンピュータに利用可能であるため、少なくとも4,236台より多くのコンピュータにインストールされていることがわかる。一方、ソフォスアンチウイルス包括ライセンス契約の前に一括購入していたウイルス対策ソフトについては、2012年度に3,982ライセンスの購入があった。このことから、これまで一括購入していたウイルス対策ソフトよりも多くのコンピュータにおいてソフォスアンチウイルスがインストールされていることがわかる。

(図1) ソフォスアンチウイルスの月別ダウンロード数

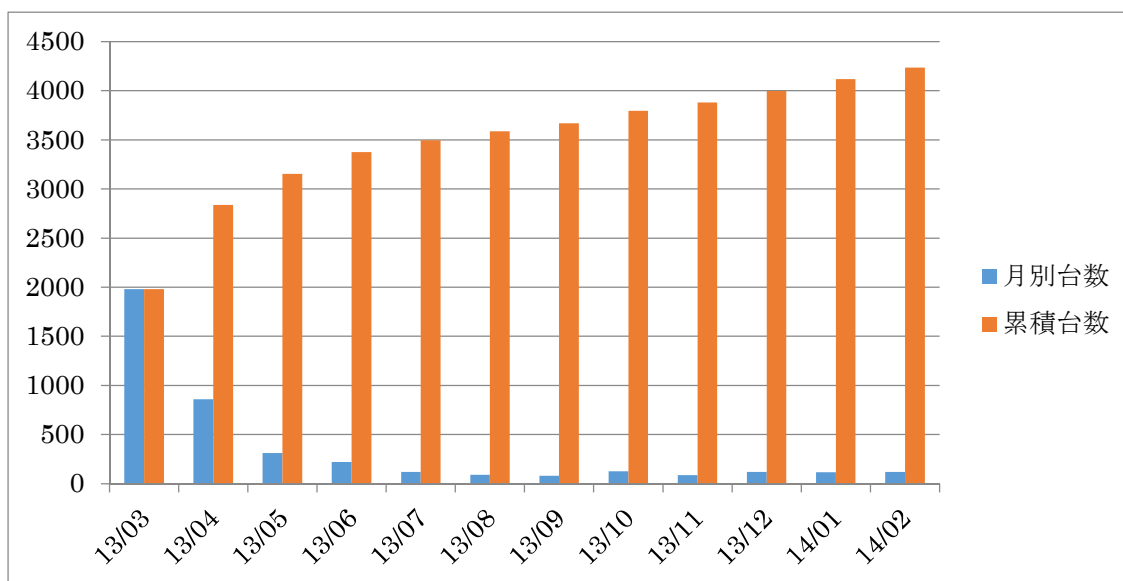


図1に示すとおり、ダウンロードは3月および4月に集中して行われている。これは、包括ライセンス契約の前に一括購入していたウイルス対策ソフトのライセンス有効期限が3月末であったため、年度内にソフォスアンチウイルスへの移行が行われたこと、年度末の予算執行において研究／業務用のパソコンが多数購入されたこと、4月から新生活を始める新入生用のパソコンが多数購入されたことが影響していると考えられる。今後、年度末から年度当初の期間に積極的な広報活動を行うことが、ソフォスアンチウイルスの利用促進

に効果的であると考えられる。

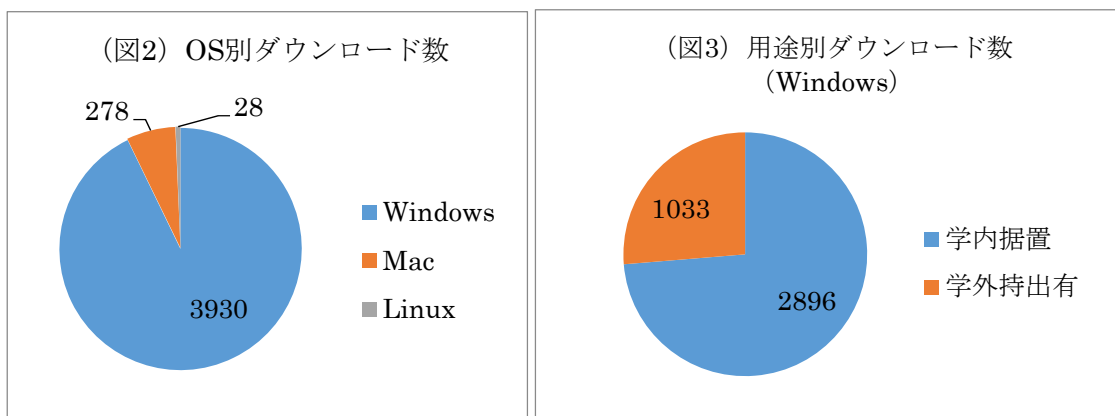


図2および図3は、2013年3月～2014年2月の間にダウンロードされたソフォスアンチウィルスのOS別・用途別内訳を示している。図2のとおり、ダウンロードされた製品の大半をWindows版が占めている一方で、Linux版についても28回のダウンロードが行われている。総合情報センターは、これまでLinuxユーザに対してアンチウィルス製品の運用サポートを行っていなかった。ソフォス製品の導入によって、少数派ではあるが、これまで表面化しなかった利用者の需要に応えることができたと考えられる。

Windows用のソフォスアンチウィルスについては、インストール対象のコンピュータを大学外で使用する可能性があるかどうかで、ソフトウェアインストーラを2種類に分けて提供している。図3に示すとおり、学外での使用を想定したコンピュータのために1,000回以上のダウンロードが行われている。この結果から、出張先や自宅など大学外においても業務や学習活動を行う機会が数多く存在し、こうした場面においても、ソフォスアンチウィルスの防御機能が働いていると予想できる。

#### 4. おわりに

クラウドや仮想化技術など情報通信技術の発展に伴い、教職員は学内だけでなく自宅や学外においても業務にあたるなど、業務形態も多様化している。また学生においても、学外でのメール利用だけでなく、e-Learningによる講義の履修など、学生を取り巻く学修環境も多様化している。業務形態や学修環境の多様化によって、ウィルス感染のリスクは増大する。昨年導入したソフォスアンチウィルスは、教職員が業務を行うすべてのコンピュータ、また学生が修学において必要なコンピュータすべてにインストールすることができるため、ウィルス感染のリスクを削減する効果が期待できる。今後、教職員や学生に更なる利用を促すため、積極的な広報活動を実施したい。



# 活動報告



## 新【情報処理＋情報通信】システムの概要

最所圭三，今井慈郎，林 敏浩，八重樫理人，堀 幸雄  
瀬野芳孝，曾根計俊，川口政秀，土居敬典

情報処理環境と情報通信環境を司る，教育研究用コンピュータシステムとキャンパスネットワークシステムは導入から2年ほど経過し，現在，ほぼ安定稼働と考えられる状況となっています。ユーザ各位には，辛抱強くお付き合いいただいたことへの感謝を申し上げます。さて，少し時間経過があったものの，当方側の不手際もあって，新システムの紹介が遅れておりましたが，この機会をいただいてシステム概要の紹介をさせていただきます。

### 教育研究用コンピュータシステム

PC 環境の一新と「仮想サーバ」の導入に加えて，IC カードプリンタの導入とパブリッククラウドである Google メールサービスへの移行が目玉になっています。PC 環境の拡充は情報リテラシー教育には不可欠であるとの認識に基づき，運用と授業支援を一体的に検討した結果，仮想サーバの導入と組み合わせることで，所謂，クライアント・サーバ環境の適切な提供を行っております。前者は今回の目玉の1つであり，新規性もあって運用上，センターとしても試行的側面もありました。しかし，後者は，ほぼ枯れた技術部分が多く，業者が変わり，新規に仮想サーバによるアプリケーションサービスを開始しても，ユーザ各位への影響を最小限にとどめることができましたと考えています。

PC ルームと共に学生オープンスペースの利用も顕著であり，総合情報センターとしては，学内ユーザ，特に，学生ユーザへのサービス充実を図ってきたところです。かつて総合情報センターでは PC ルームを終日開放するなどの体制を試行した時代もありましたが，火災などの危険性が内外で指摘され，現状のような体制へ移行しました。そのこともあって，学生ユーザへのサービス充実は今総合情報センターの最大ミッションの1つと認識しています。

そのような認識と齟齬があるのではないかと指摘されたのが「IC カードプリンタの導入」でした。目的はあくまでユーザ，特に学生ユーザへのサービス向上です。具体的には，常にプリンタが正常稼働し，適切なコストで印刷サービスが享受でき（言い過ぎでしょうか），エコロジーにも配慮された運用体制が到達目標でした。不必要な印刷まで大学側がサポートする必要はなく，IC カードの電子マネーによる決済という方式を採用することで，受益者負担という意味でも印刷用紙は適正コストで購入すべきという方針は結果として受容いただいたと考えています。効果も明記させてください。

まず，旧システムでは，PC ルームのプリンタの数台が故障中という状況が残念ながら常



態化していた時期がリプレース前にあったことも事実です。学生ユーザにとっては不便極まりない状況ですが、導入業者が代替機を用意しないなど導入時の仕様書記載の問題すら指摘されたようです。また印刷速度や出来栄えの問題も指摘されていました。家庭用プリンタ程度では大学の授業やレポート提出などのリクエストには対応できないことも明確になってきました。そこで、PCメーカーの付随的プリンタではなく、使用目的や機能仕様などを明確に示すことで、所謂ヘヴィーニーズにも耐えうるプリンティング環境を考えた結果が今回のICカードプリンタの導入です。機器がサービスをどの程度、順調に提供しているかのモニタリングはもちろん、印刷枚数も毎月集計することができ、利用実績に応じた資源の再配分すら可能になりました。実際、あまり使用実績のない機器を別の建物に移動させ、使用効率を改善した事例もあったことからこの体制のメリットを確認いただくことができます。実は、この導入効果は本センターのスタッフを中心にした論文（注1）でも公表されています。

もう一方のGoogleメールサービスへの移行については、旧来からの決別という意味ではより大きな決断があったことも事実です。どこかの会社が、「検索エンジン」を利用すると社内ニーズが、間接的しろ、特定企業に漏れてしまう、との懸念からこの手のサービスを使用することは控えるようにとの通達があったとか、無かったとか。その顛末は寡聞にして聞き及んでいませんが、利便性の低下があっただろうことは想像に難くありません。

これも読み人知れずの話になりますが、検索エンジンに加え、ファイルサービスやメールサービスなどのパブリッククラウドを如何に賢く利用するかで、企業利益が数パーセントのオーダーで増減するとの話題もあります。既に、当方の周りでは「Google先生」との呼称が頻繁に聞かれており、Googleメールサービスへの移行はむしろ自然な流れとも感じていました。Webメールシステム（学内的にはフリーソフトの"SquirrelMail"が提供されています）は、PCからスマートフォンまで幅広く使用されているので、本学が採用したGoogleメールサービスも学内外の多くの場所で使用が可能です。学生ユーザへのサービス向上という意味では、ICカードプリンタの導入と双璧をなすのではないかと考えています。後述するBCP対策での効果も期待できるなど、その利便性は今後、ますます伸展していくと考えています。

この項目の最後として「仮想サーバ」の効能について明記させてください。従来のサーバとは、言わば、PCの親分程度のマシンで、PCが主としてユーザ側のクライアント機能を分担していたのに対し、ご存じのように、サーバとは、まさに24時間稼働で複数のクライアントから処理要求を受け付ける「仕事屋」とも言える存在です。これが仮想化されたサーバ群です。具体的には、CPUがマルチコア技術などで多機能化し、1台の筐体のコンピュータにCPUサービスである情報処理機能に加えて、Webサーバ機能やファイルサーバ機能などを同居させる仕組みを専用のハードウェア+ソフトウェアで実現する新しいテクノロジーの産物とも言えます。本学も仕様策定時の英断で、仮想サーバ方式を採用し、そのお陰もあって、柔軟かつ動的にサーバ機能を提供することができています。

比喩的な例示を行えば、当初予定されていた情報処理サービスを、組織内ニーズに応じて拡大し、従来システムであれば、マシンを買い替えるなどでの対応しかない場合でも、仮想サーバ方式であれば、CPU コアの割当やハードディスクの対応付けを変更することで対応させることが可能となり、(もちろん無制限ではないものの) システム構成の自由度が確保されることとなります。既に、導入後2年以上経過し、今となっては、何故導入時にもっと容量を増やす仕様にしておかなかったかと少々悔やまれるところもありますが、仮想サーバの導入効果は特筆すべき事案の1つです。

教育研究用コンピュータシステムの概要については、図1のコンピュータシステム構成図をご覧ください。

注1：

「香川大学のプリンタシステムに対する諸問題を解決するICカード認証課金プリンタシステムの開発とその導入効果」八重樫理人，林 敏浩，今井慈郎，堀 幸雄，古川善吾，服部真子，香坂光彦，本田道夫．電子情報通信学会論文誌 D Vol.J96-D No.10 pp.2452-2463 発行年：2013年10月

## キャンパス内およびキャンパス間のネットワークサービス

従来と同じ1ギガ速度(1Gbit/sec)のネットワーク環境ながら、キャンパスベースの仮想サブネットワーク構成とBCP対策が隠し味になっており、IPv4限定対応ながら機器認証強化にもコスト配分を行っています。旧システムとの対比で、新システムの特徴を紹介し、旧システムの問題点をどのように解消しているか、具体的に紹介します。まず、旧システムでは、およそ10年前(H15=2003年)本学においても猛威を奮ったWindowsに感染するコンピュータウイルス(ワーム)であるMSブラスタからの教訓から、階層的ネットワーク構成とネットワークセキュリティ対策の効果的導入を謳い文句に導入されました。L3スイッチとL2スイッチを階層的に配置することで機能分散を図り、速度向上を目指すと共に、キャンパス間や教育研究系と大学管理運営系(=事務系)との間に強力なセキュリティポイントを設定しました。当時高額だったUTMを複数設置してセキュリティレベルを確保していたのも特徴でした。ネットワーク監視システムの運用などもスタートし、本格的なネットワーク環境が構築できたと思っていましたが、まさに光陰矢のごとの諺通り、数年経過するとネットワーク構成もセキュリティ対策も経年変化を感じるようになりました。

セキュリティポリシー策定の動き、標的型メールに代表される外部からの攻撃の激化、多種多様なインシデント発生、ネットワーク監視の複雑化など課題目白押しの状況となりました。ネットワーク維持管理を効率化するにはどうするか、との議論を経て、1) ネットワーク構成のシンプル化、2) セキュリティ確保の集中化、3) 持込みPCなども含めた

機器認証管理の効率化，などを柱にした仕様を確定しました。

1) では，L2 スイッチの高機能化を受けて，L3 スイッチの台数を低減し，コストを下げの方針を採用し，結果としてスター型のシンプルな構成をとることが可能となりました。管理運用はもとより，ネットワーク監視の上でも，シンプルな構成は効果が期待できます。セキュリティ確保の集中化との相性も良くなったと考えています。

2) では，目玉となる高機能ファイアウォール（二重系）の導入により，コンテンツフィルタリング，外部からのアタック防止，フィッシング対策，P2P の遮断など1ギガ速度の通信でも停滞することなく，セキュリティ対策を実施できるため W 杯クラスのゴールキーパーにも匹敵する活躍ぶりとなっています。これまで Web アプリは処理内容が異なっても，総て 80 番や 443 番ポートでのサービスを要求するため，対策がずさんでしたが，導入システムは，この点でも大きく改良され，処理内容に応じた対策が可能となっています。そして，セキュリティポリシーに応じて，適切な仮想サブネットワークを構成し，より柔軟なセキュリティ対策も可能です。（図2 ファイアウォール概念図参照）

3) では，今後，急増が予測される持込み PC や WiFi 対応の情報機器の機器認証管理サービスを行う装置の導入が主体です。DHCP などのプロトコルにより，適切な IP アドレスを付与できる仕組みは既に旧システムで使用していました。それをより進展させたのが本システムです。この機器および活用サービスについては今回年報の「端末認証システム」に詳述されているので，そちらもご高覧ください。

また，1)～3) との関係が深くても，项目的には独立している DNS サービスについて，新システムでは機能拡充を図っています。基本的役割である学内外からのドメイン名や IP アドレス参照に対し，外引きと内引きを効果的に交通整理しつつ，DHCP 機能とも融合させながら，DNS キャッシュポイズニングなどのアタックにも動じないように，分散構成を採用しています。

一方，キャンパス間ネットワークサービスでは，主要4キャンパスを相互接続すると共に，附属施設との通信回線を網羅的に提供しています。特に，幸町キャンパスはインターネットとの接続サービスを提供している SINET4 との間で高速通信を実現し，医学部キャンパスには，SINET4 との情報断が発生した際に備え，STNet が提供する臨時のインターネット接続サービスの窓口を準備しています。このような冗長性を確保することで，南海トラフ地震などの影響により学内ネットワークサービスが機能低下を起こすような場合でも，可能な限り被害を低減する BCP 対策の一翼を担っています。

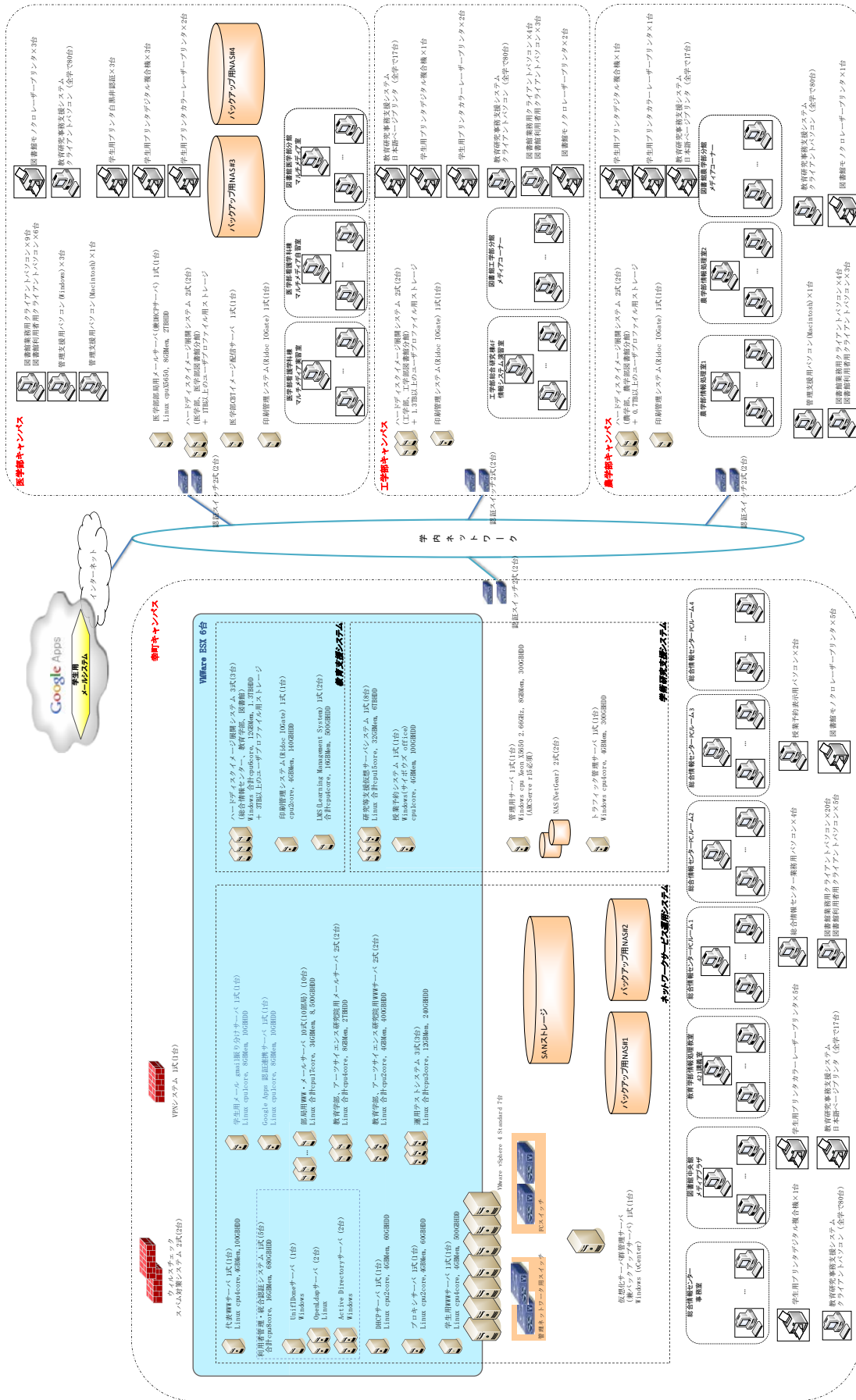
さらに，各キャンパスにはベストエフォート型インターネット接続サービスへのアクセス窓口を用意しています。仮に4拠点間の通信が途絶しても，生き残っているキャンパスからインターネット空間へのアクセスが限定的でも可能となる仕組みを確保しています。上述のような非常時以外でも，このベストエフォート型インターネット接続サービスを効果的に活用することで，例えば，研究会や外部委員会など出席者が学内ネットワークをほぼスルーすることで直接，インターネット接続が可能となるようなサービスも提供可能と

なっています。

紙面の都合で、新システムの概要紹介の簡単な記述になってしまいましたが、これ以外にもアクティブラーニング事業で導入された「IT 教卓」などの運用などでも総合情報センターの果たすべき役割はあると認識しており、今後、機会も見つけて機能紹介なども心掛けていきたいと考えています。また、今回の新システムは、導入からその運用に至るまで、情報グループリーダーを始めとする情報グループの皆さんの協力なくしては、総合情報センターの業務を一つとして前に進めることはできなかったと思います。ここに明記して謝意を表します。

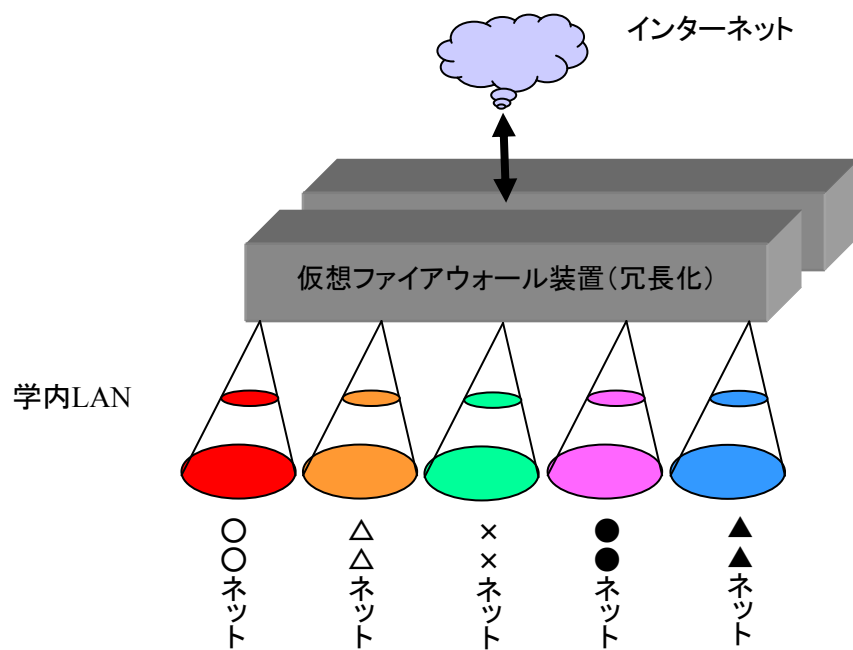
末筆になりましたが、学内ユーザ各位におかれましては、ヘルプデスクなどを通じて質問や問題点を当センターにフィードバックしていただき、より効率的なシステム利用環境の構築に対してもご支援をお願いできればと思います。

図1 コンピュータシステム構成図



All Rights Reserved, Copyright © FUJITSU LIMITED 2011.

図2 ファイアウォール概念図



# 知プラ e 事業 香川大学の取り組み報告

大学連携 e-Learning 教育支援センター四国  
村井礼, 岩城暁大, 裏和宏, 林敏浩  
学術室 情報グループ  
末廣紀史

## 1. 知プラ e 事業の紹介

「四国における e-Knowledge を基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施」(知プラ e) 事業は、四国の e-Learning 基盤を活用して「四国地区における 5 国立大学連携構想」の中の大学教育を共同実施することによって、連携大学全体の教育の質の向上を図るものである。

図 1 に示す通り、四国の国立 5 大学(香川大学, 徳島大学, 鳴門教育大学, 愛媛大学, 高知大学)が相互に連携し、香川大学に大学連携 e-Learning 教育支援センター四国(以下, センター四国)を設置するとともに、他の 4 大学にセンター分室を設置し、事業を推進する。センター四国及び分室は、主に、大学教育の共同実施に向けた組織体制の整備やコンテンツの開発、および遠隔会議・遠隔講義システム等のシステム基盤強化に関する業務を行うものとする。

大学間連携により、それぞれの人材や得意とする教育・研究分野を共有・補完するコンテンツを開発することで、教育の質の向上を図る。科目選択の幅が広がることによって、履修者の興味や学習ニーズにあった科目履修が可能となる。また、各大学の状況(時間割など)に依存しない教育プログラムの開発により、学生にとっては、四国のどこに居ても、いつでも何度でも受講できる共同実施の運用モデルを確立する。

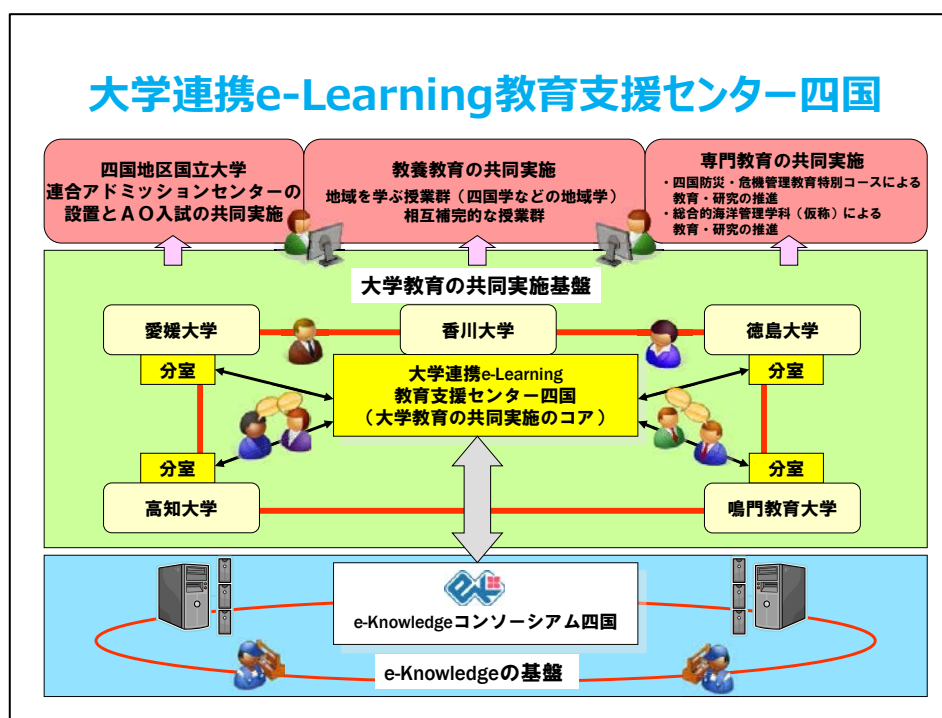


図 1 大学連携 e-Learning 教育支援センター四国の全体図

## 2. 香川大学における組織体制

表 1 にセンター四国(香川大学)のスタッフを示す。

まず、本学総合情報センターの林敏浩教授がセンター長(兼任)となり、センター四国全体の統括を行っている。ICT 基盤の調査・立案・設計等も行い、総合情報センターとの連携でシステム基盤を支え

ている。次に、本事業で新規採用された村井礼教授がセンター四国の専任教員として、香川大学のタスクコーディネーションを担当している。また、専門分野である著作権や知財関係の検討も行い、センター四国でのコンテンツ提供における著作権処理の仕組み作りなども担当する。同じく新規採用された岩城暁大助教は、香川大学のタスクの実施と対応を担当する。四国映像コンテンツフェスタ 2012 にて、18 歳以上の部の優秀賞を受賞したスキルを活かし、e-Learning コンテンツ開発の支援を行っている。さらに、技術補佐員として裏和宏氏が香川大学のタスクの実施と対応の補助を担当する。主に、林センター長の ICT 基盤の運用を支援する。

表1 センター四国（香川大学）のスタッフ紹介

	林 敏浩（教授,センター長） 全体統括 ICT 基盤の調査・立案・設計
	村井 礼（教授） 香川大学のタスクコーディネーション 著作権・知財関係の検討
	岩城暁大（助教） 香川大学のタスクの実施・対応 e-Learning コンテンツ開発支援
	裏 和宏（技術補佐員） 香川大学のタスクの実施・対応の補助 ICT 基盤の運用支援

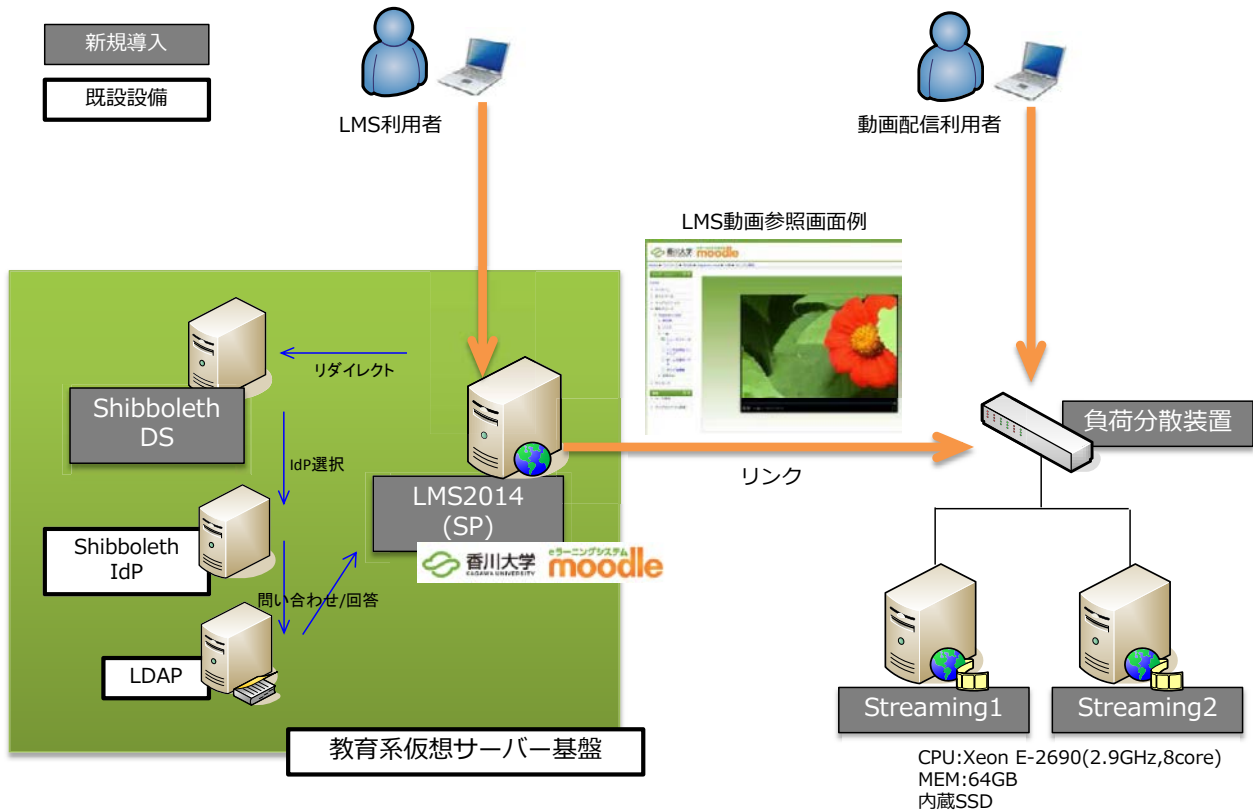
表2 平成25年度に強化された ICT 基盤の例

強化した ICT 基盤	強化の概要
学習管理システム（LMS）	配信サーバーの追加 Shibboleth 認証のための DS サーバーの追加
多地点接続のテレビ会議システム環境	テレビ会議端末の増強 MCU および予約管理システムの導入
e-Learning コンテンツ開発環境	コンテンツ開発システムの導入 貸し出し型コンテンツ開発キットの整備
同期型配信授業を指向した教室環境	IT 教卓（香川大学モデル）の追加導入 遠隔 AV 制御サーバーの冗長構成化
e-Learning コンテンツ収録環境	e-Learning スタジオの整備

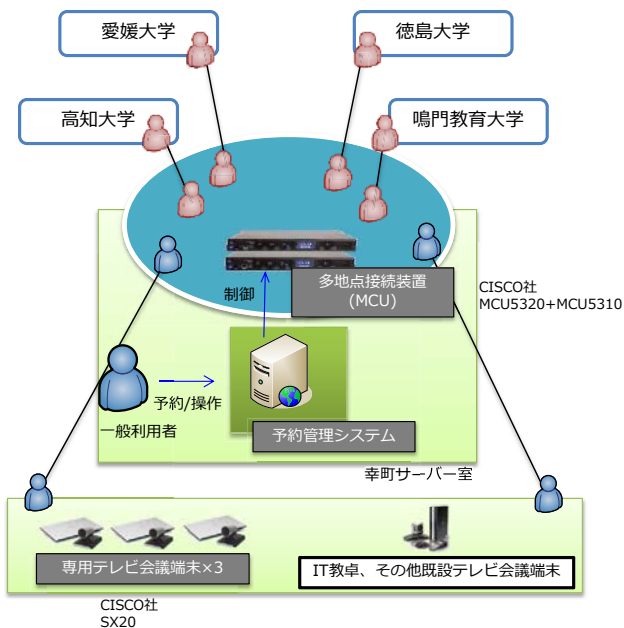


### 3. ICT 基盤の強化

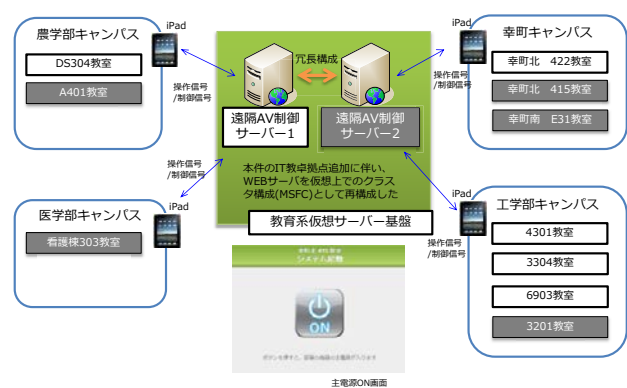
知プラ e 事業では、e-Learning のための ICT 基盤の強化も課題として挙げられている。香川大学では、平成 25 年度に表 2 に示される強化を行っている。図 3 に示す通り、主に 3 つの分野について基盤強化を実施している。



(a) LMS の強化 (負荷対策, DS 導入)



(b) 多地点接続のテレビ会議システム (MCU および予約管理システム導入)



(c) 同期型配信授業を指向した教室環境 (IT 教卓香川大モデル)

図 3 強化した ICT システム基盤

### 3.1 LMS の強化（負荷対策，DS 導入）

2014 年度から運用する LMS 基盤(Moodle)については，ユーザーインターフェースを香川大学独自のデザインに変更し，利用者が香川大学の LMS 基盤を認識しやすく，且つ視認性の高いものとしている。

認証基盤は e-Knowledge コンソーシアム四国のプロジェクトを踏襲し，他大学との Shibboleth 認証と Moodle のローカル LDAP 認証の併用をしている。従来，徳島大学内の DS サイトを借りた形での運用であったが，本件では教育系仮想基盤に新たに DS サーバーを構築しリダイレクト先を変更している。また，Moodle と併せてこの DS 及び IdP の利用者画面も，新たに香川大学用デザインに更新をしている。

オンデマンドの動画配信サーバーは 2 台の負荷分散構成とし，コンテンツは rsync によって同期されホットスタンバイでの利用となる。サーバーのスペックも数千人の自宅学習運用や，授業での一斉利用など高負荷な環境を想定して構成し，将来性の拡張性のある構成である。

### 3.2 多地点接続のテレビ会議システム（MCU および予約管理システム導入）

複数大学による授業での同時利用を想定し，最大 30 拠点同時接続が可能な多地点接続装置(MCU)を導入した。MCU は cisco 社製のアプライアンスが 2 台構成で，障害が発生しても片側で縮退運用が可能となる。MCU の導入により，従来はメーカー毎の機器の相性など，検証に苦勞したテレビ会議装置の運用負荷が軽減された。また MCU が各テレビ会議端末の仲介する形になるので，ファイアーウォールの端末ごとのルール追加や，ポート調整の煩わしさからも開放されることとなる。

テレビ会議を行う為には IT スキルが必要であるかのように感じ，一般利用者は運用に対してハードルが高いように感じられるが，WEB ブラウザから必要な拠点に対して一斉配信を行ったり，レイアウト変更やカメラ制御を行ったりもできる，予約管理システムを導入した。

将来的には IT スキルが高くない人でも，簡単に，統一されたインターフェースでテレビ会議及び同期型配信授業を行ってもらえる運用を目指している。

### 3.3 同期型配信授業を指向した教室環境（IT 教卓香川大モデル）

従来，香川大学では講義室毎の AV システムや ICT 環境はバラバラであり，操作するインターフェースが統一なされていなかった。しかし昨年より，教卓の仕様のデザイン含め教卓の仕様を統一化する試みをしており，本件でも同期型配信授業を行う拠点教室のインターフェースを統一し，更に現地に職員がいなくとも，遠隔でテレビ会議の環境を準備できるような AV 制御システムも実装している。

今回の拠点数増加につき，全学で 10 拠点に同様な IT 教卓環境が整備された。より安定的な環境を整える為，遠隔制御サーバーをクラスタ構成(MSFC)とし，また他教室の制御を行う際の認証方法も全学認証システムと連携するように改修を行っている。

### 3.4 e-Learning コンテンツ撮影スタジオ

e-Learning コンテンツを円滑に制作し配信講義の充実を図るため，香川大学内に撮影スタジオを構築した。図 4 にスタジオの設備概要を示す。撮影スタジオでは，ホワイトボードや液晶 TV，合成用のグリーンバックを導入し，講師の様々な授業形式に対応できるようにした。また，メモリ録画が可能な機材や AV ミキサーを導入することで，編集の負担が少ないコンテンツ制作が行えるようにした。さらに，スタジオ撮影だけではなく，フィールドワークなどの様々な撮影に対応する撮影機材も導入した。

これらは e-Learning の撮影を前提とした機材選定であるが，当該事業の広報用の映像制作等にも対応でき，アイデアによって様々なに活用することができるスタジオとなっている。



図4 撮影スタジオの設備概要

# ヘルプデスクこの1年

瀬野芳孝

本稿の表題は、「ヘルプデスクこの1年」となっていますが、平成23年11月にヘルプデスクを開設して以降年報での報告はしていませんので、開設以来都合3年分について簡単に紹介します。

## 1. 質問件数および内容

ヘルプデスクに寄せられた質問ですが、平成26年3月までの29月分をまとめて質問分類ごとに集計し比率で表したものが図1です。さらに細かく年度別に月ごとに集計したのが次ページからの表とグラフです。

質問の分類項目としては、その他にも含めて8項目にしていますが、メール、プリンタ、無線LAN接続という順に質問が多く寄せられていて、その3項目で全体の3分の2を占めていることがわかります。

また、質問件数について学生と教員との割合をみると学生が3分の2を占めていて、主対象を学生において開始した主旨が反映されているといえます。

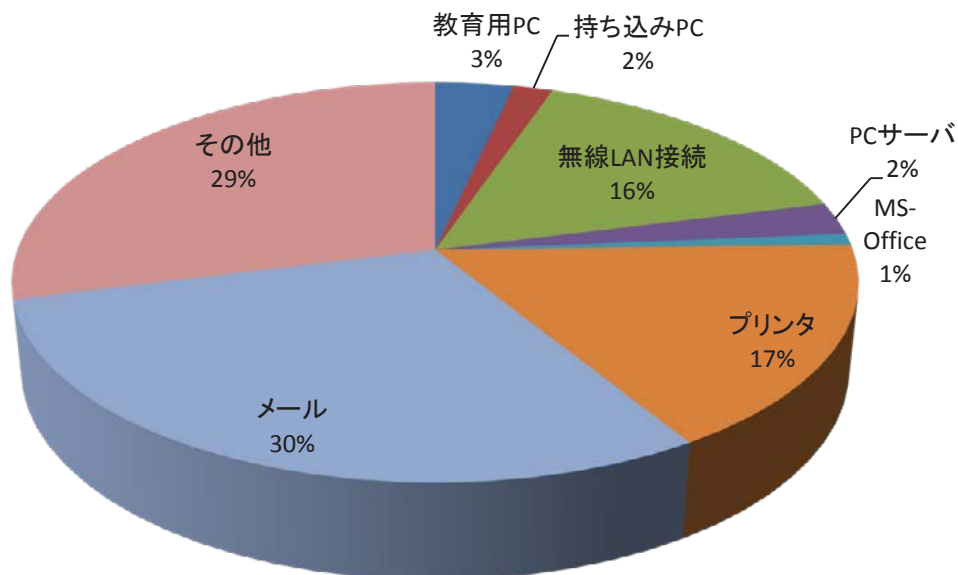


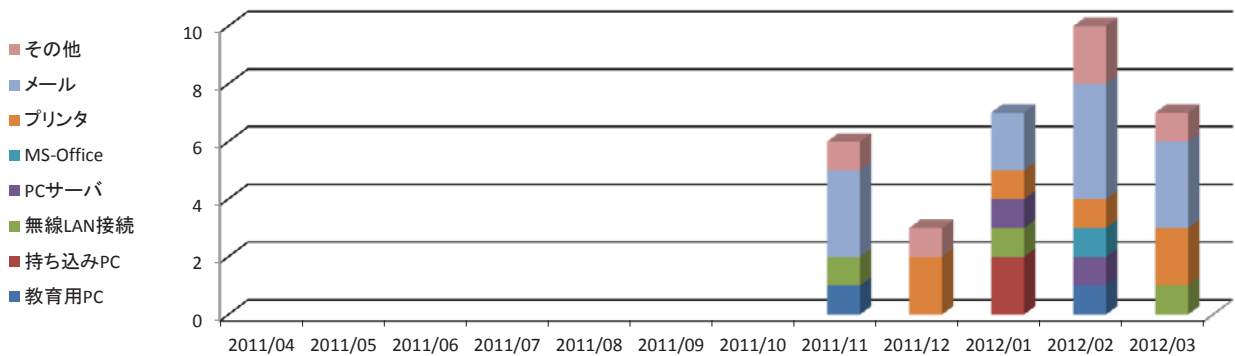
図1

○平成23年度

質問項目	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育用PC								1			1		2
持ち込みPC										2			2
無線LAN接続								1		1		1	3
PCサーバ										1	1		2
MS-Office											1		1
プリンタ									2	1	1	2	6
メール								3		2	4	3	12
その他								1	1		2	1	5
計								6	3	7	10	7	33
教職員								2	0	2	6	3	13
学生								4	3	5	4	4	20
その他								0	0	0	0	0	0

	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
解決								6	3	4	8	7	28
未解決								0	0	3	2	0	5

※未解決の事案については翌月にまたがって解決している

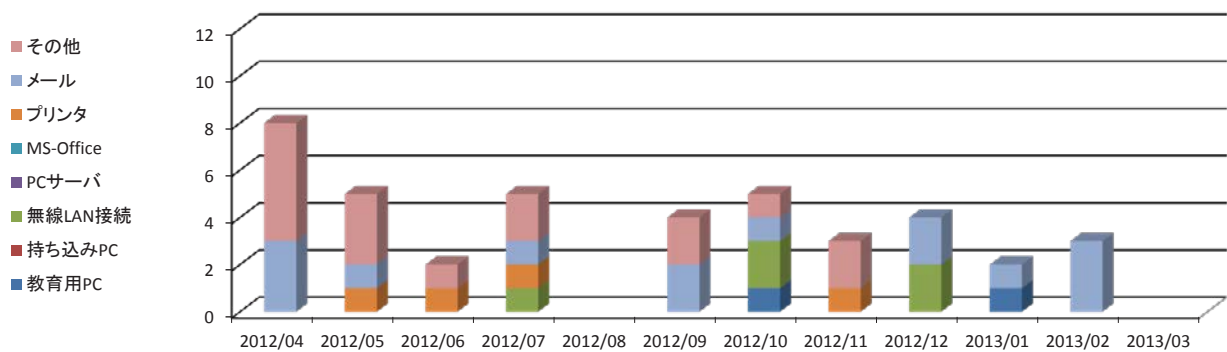


○平成24年度

質問項目	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育用PC							1						1
持ち込みPC													0
無線LAN接続				1			2		1				4
PCサーバ													0
MS-Office													0
プリンタ		1	1	1				1					4
メール	3	1		1		2	1		2		3		13
その他	5	3	1	2		2	1	2	1	1			18
計	8	5	2	5	0	4	5	3	4	1	3	0	40
教職員	5	2	0	1	0	1	2	0	2	1	3	0	17
学生	3	3	2	4	0	1	3	3	2	0	0	0	21
その他	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2

	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
解決	8	5	2	5	0	3	3	2	4	1	3	0	36
未解決	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4

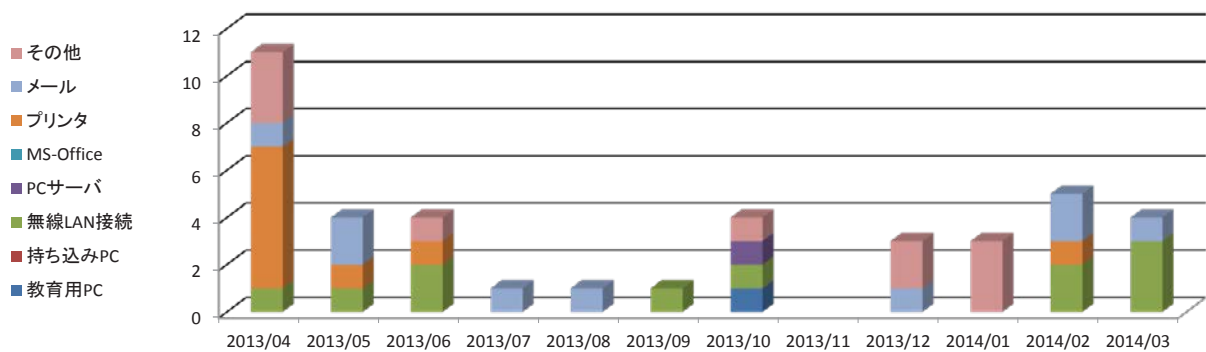
※未解決の事案については翌月にまたがって解決している



○平成25年度

質問項目	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育用PC							1						1
持ち込みPC													0
無線LAN接続	1	1	2			1	1				2	3	11
PCサーバ							1						1
MS-Office													0
プリンタ	6	1	1								1		9
メール	1	2		1	1				1		2	1	9
その他	3		1				1		2	3			10
計	11	4	4	1	1	1	4	0	3	3	5	4	41
教職員	1	0	1	1	1	1	2	0	0	0	1	3	11
学生	10	4	3	0	0	0	2	0	3	2	4	1	29
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
解決	11	4	4	1	1	1	4	0	3	3	5	4	41
未解決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



## 2. PCルームにおける学生の忘れ物

総合情報センターでは、午後5時以降は非常勤職員を雇用して夜の9時まで利用出来るよう利用者の便宜を図っています。

業務終了時には各部屋を見回り忘れ物等について確認を行っていますが、ほぼ毎日なにがしかの忘れ物を取得しています。きちんとした取得品名や取得場所についての記録が残っている平成23年8月以降について、簡単にまとめてみました。集計の都合で平成26年1月までの30月分を対象期間としています。

この期間における忘れ物の品目名、数量については表1のとおりで、全体の比率を表したものが図2です。

総数としては805件となっていて、そのうちUSBメモリが約4分の1を占めています。情報端末等の付属品という項目の中身は、充電用のケーブルやプラグ等のいわゆるアダプタです。10年くらい前にはフロッピーディスクの忘れ物が多くあったのですが、隔世の感がします。

品名	件数		
USBメモリ	198	引き取られたもの	110(55.6%)
文房具	193	残っているもの	88(44.4%)
書籍	15		
プリント類	66		
学生証	54		
イヤホン	27		
情報端末等の付属品	40		
鍵	13		
CD等メディア	29		
傘	30		
腕時計	7		
USBメモリのふた	14		
めがね・めがねケース	14		
その他	105	引き取られたもの	182(22.6%)
計	805	残っているもの	623(77.4%)

表1 忘れ物品目別件数(集計期間：平成23年8月1日～平成26年1月31日)

全体での引き取り率は23%弱で4分の1には満たないですが、USBメモリに限ってみると56%弱と高率になっています。ただ、半数近くが引き取り手のいない状態になっていて、安価になっていることも原因の一つかもしれませんが、中身にぎっしりと情報が詰



まっていることに無頓着なことが懸念されます。

学生証については、本人の所属学部学務担当係の方に持参して本人への返却を依頼して  
いて、返却率は100%となっています。平成24年3月から印刷システムが、学生証に  
プラスされている生協マネー機能を使って印刷料金の精算をする方式に移行していて、プ  
リントの横にあるICカード読み取り装置に入れて印刷を行ったあとは用紙の方に意識が集  
中してしまい、学生証はそのままになってしまうのではないかと考えられます。

ここには計上していませんが、もう一つの貴重品である現金入りの財布についても何件  
か取得していますが、すべて本人に戻っています。

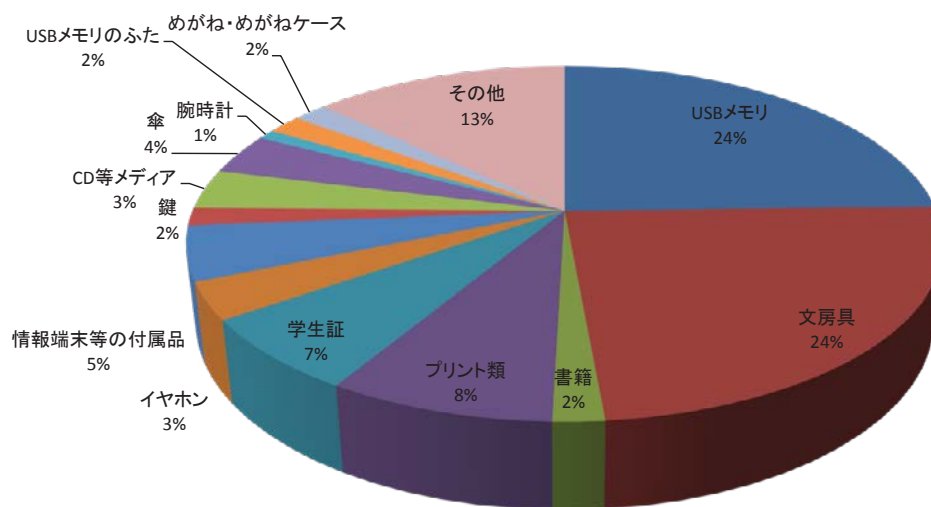


図2 忘れ物品目別比率

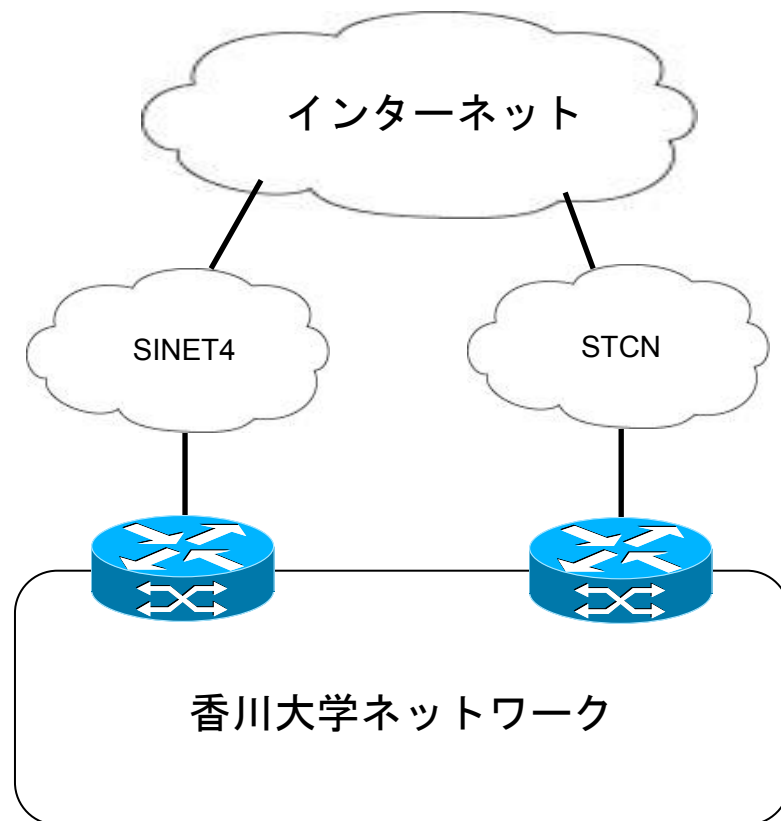
## AS番号の取得とIRRへの登録

瀬野芳孝

香川大学におけるインターネット接続は、国立情報学研究所が運営するSINET4を利用してきました。平成24年10月のネットワークシステムの更新にあたり、災害対策の一環としてSINET4が不通になった場合に備え、外部ネットワークとの接続口をもう1箇所持つことになりました(下図)。

通常時はSINET4が機能し、SINET4が障害発生時にはSTCNに切り替わるような運用を行うため、AS(Autonomous System)番号の取得とIRR(Internet Routing Registry)への登録が必要になります。

簡単にAS番号取得とIRR登録について報告いたします。



### 1. AS番号取得

申請はJPNIC(Japan Network Information Center)のホームページにある申請窓口から行い、記載内容について審査が行われ、必要があればメールでの問い合わせがあり承認割り

当てとなります。

審査が通って承認された旨の連絡は、割り当てられた AS 番号を付けて申請者メールアドレス宛にありました。

今後継続してネットワークを運用していくこととなりますが、JPNIC からの連絡事項を見逃さないためにも、申請内容のうち管理者連絡窓口、技術連絡担当者、申請者メールアドレスについては、交代があった時点で遅滞なく適切に変更する必要があります。

## 2. IRR 登録

IRR はいくつかの組織が運営しているようですが、今回は JPNIC が運営している JPIRR に登録しました。

登録の手順としては、管理者の登録(Maintainer オブジェクト)を申請し、それが承認を得られれば広報したいセグメントをすべて登録するという流れになります。

そのあたりの流れについては、次のところに詳しく記載があります。

<http://www.nic.ad.jp/doc/jpnic-01077.html> JPIRR でのオブジェクト登録について

概略の登録手順は次の流れになります。

1. Maintainer オブジェクトの新規登録
2. Maintainer オブジェクトの仮パスワードの変更
3. Route (Route6)オブジェクトの登録
4. Aut-Num オブジェクトの登録
5. AS-Set オブジェクトの登録
6. Role オブジェクトの登録
7. Person オブジェクトの登録

これらのすべてを登録する必要はないようで、最低限はMaintainer オブジェクトとRoute オブジェクトがあればネットワーク通信は問題なくできるようです。ただ、Route オブジェクトの登録元の情報でもある Aut-Num オブジェクトも登録した方が他の組織に対して親切ということです。

香川大学の場合は全く始めてであったので、JPNIC の担当者にメールでいろいろ教えていただいたのですが、初回であれば、Maintainer 登録に併せて同時に(同じ申請メールで)Route オブジェクトの登録もできるとのことでした。今回はそのような手順で行いました。

このあと Maintainer オブジェクトのパスワードの変更を行ってセキュリティを確保した状態でそれぞれの機関で登録ができるようになります。

追加の登録は自動化になっていて、問題がなければ即時にデータベースへの反映がなされるようです。

登録の実際については上述の「JPIRR でのオブジェクト登録について」のページに詳しく説明されていますので、改めて記載はしません。例示は詳しくて、それに沿って自組織のものを作ってゆけば、登録用のオブジェクトが完成するようになっています。

このあと経路情報の運用になりますが、年月の経過とともに運用からはずれてしまったり、運用を休止したネットワークが生じることはある程度必然であるようですが、不必要なオブジェクトがデータベースの負荷になってしまわないために、定期的に更新を行っているようです。この手続きについては、下記のページに詳しく解説されています。JPIRR のほうから通知が届くようです。うっかり見逃し続けるといつの間にかメールが届かないという事態になりかねません。香川大学の運用管理担当者をきちんと決めて運用に気を配る必要があるようです。

JPNIC, IRR オブジェクト ガーベージ コレクター の運用について

<https://jpirr.nic.ad.jp/gc/doc/index.html>

## 参考文献

JPNIC, JPIRR

<http://www.nic.ad.jp/ja/irr/>

JPNIC, IRR とは何か

<http://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/feature/vol063.html>

JPNIC, ニュースレター インターネット 10 分講座 目次

<http://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/10minute.html>

JPNIC, インターネット 10 分講座 : BGP

<http://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No35/0800.html>

JPNIC, インターネット 10 分講座 IRR

<http://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No27/100.html>

JPNIC, JPIRR サービス正式サービス化

<http://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No34/0210.html>



寄 稿



## 建物平面図でみる総合情報センターの歴史

瀬野 芳孝

総合情報センターが入っている幸町南5号館は、その前身である計算センター時代の昭和49年に建てられ、平成26年で満40年になります。

建物内部については、そのときどきのコンピュータシステムの導入目的が十分に発揮されるよう、部屋の用途変更や必要に応じた改修を行ってきました。本稿では、改修によって変化する建物平面図に絞って総合情報センターの歴史を紹介したいと思います。

改修の概略について年代を追って一覧にしたのが表1です。組織名の変遷も併記することで時代背景もおぼろながら想像することが出来るのではないかと思います。そして、表2は見方を少し変えて、竣工当時の各部屋が改修に伴ってどのように名称を変化させたか（つまり部屋の機能がどのように変化したか）をまとめたものです。

表1や表2だけでは改修の細かいところまではわからないと思われるので、それぞれの改修を行った後の平面図を図1から図8までつけました（この図番号は表1の中にある図番号に合わせています）。また、平面図の合間に、計算センター当時の玄関部分やメインフレーム、また改修直後の情報処理センター建物外観、そして、情報処理センター開所式での看板掲示の様子を写したものを載せました。当時の雰囲気的一端を感じていただければと思います。

ここであえて補足ですが、床やドアの改修などの平面図に現れない利便性の向上のための工事は多く実施しています。

南5号館は新築当時からすると、その内部はすっかり変わってしまいました。昭和時代によく出入りして以来久しぶりに来られたら、当時を想像することはできないかもしれません。



表 1

<b>計算センター（昭和43年4月～平成3年1月）</b>	
昭和43年	旧建物新築（今の保健管理センターの南側部分）
昭和49年（図1）	現在地に新築移転（竣工は昭和49年度中頃で、その年度内での引っ越し移転となったようである）
<b>情報処理センター（平成3年2月～平成15年9月）</b>	
平成3年2月（図2） 大改修第1弾	情報処理センター設置による計算機システム更新に対応した建物内部改修（玄関部分、事務室、デバッグ室及び廊下部分を合わせて広いパソコン室の設置、玄関を北側に移転）
平成7年3月（図3）	計算機システム更新に対応（2階の教官デバッグ室と研究室を合わせて一部屋とし、ワークステーションルームの設置）
平成11年3月（図4）	計算機システム更新に対応（部屋の用途変更し、パソコン台数の増加への整備対応）
平成15年3月（図5）	計算機システム更新に対応（部屋の用途変更し、パソコン台数の増加への整備対応）
<b>総合情報基盤センター（平成15年10月～平成19年3月）</b>	
<b>図書館・情報機構総合情報センター（平成19年4月～平成25年3月）</b>	
平成22年3月（図6） 大改修第2弾	総合情報センター機能強化のため改修（事務室、センター長室、研究開発室とともにその前の廊下を合わせて一部屋とする、SINETノード室の設置、セミナー室の設置、学生オープンスペースの設置）
平成24年5月（図7）	学生オープンスペースの増設
<b>総合情報センター（平成25年4月～）</b>	
平成25年4月（図8）	玄関改修（自動ドア化）、学生オープンスペース増設部分改修、e K 4室拡充
平成26年3月	編集スタジオ設置（2階の研究開発室を改修）

表 2

1 階

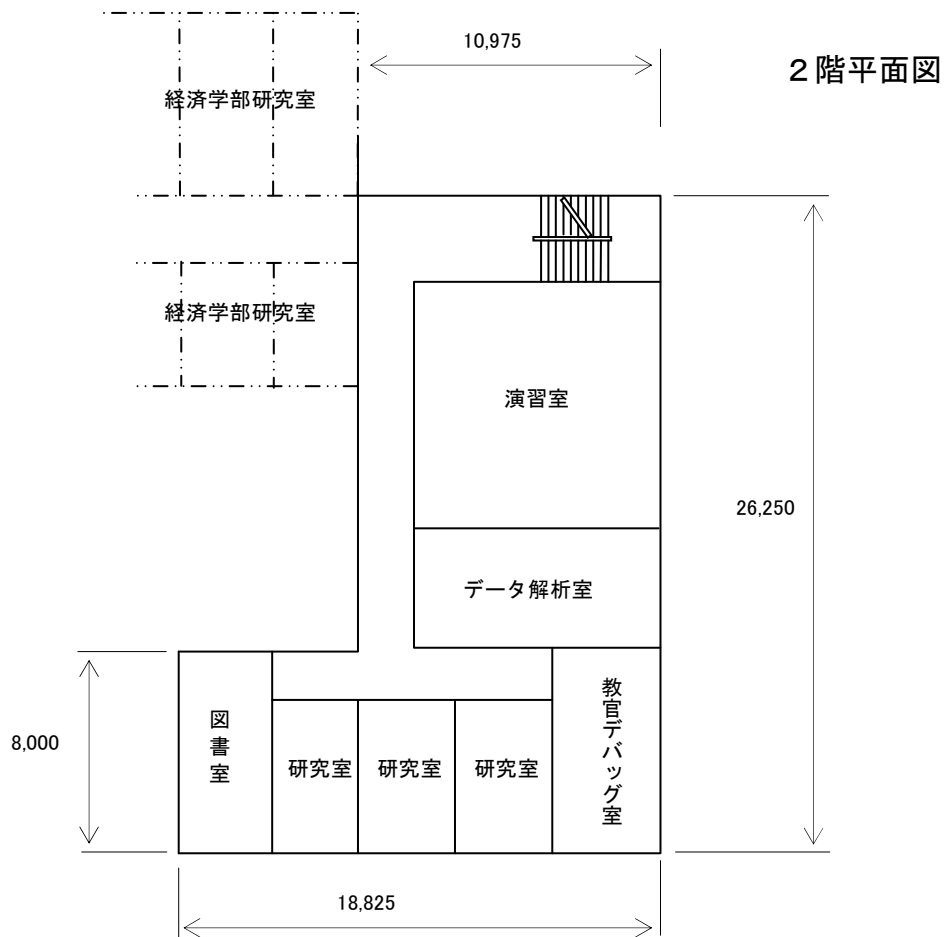
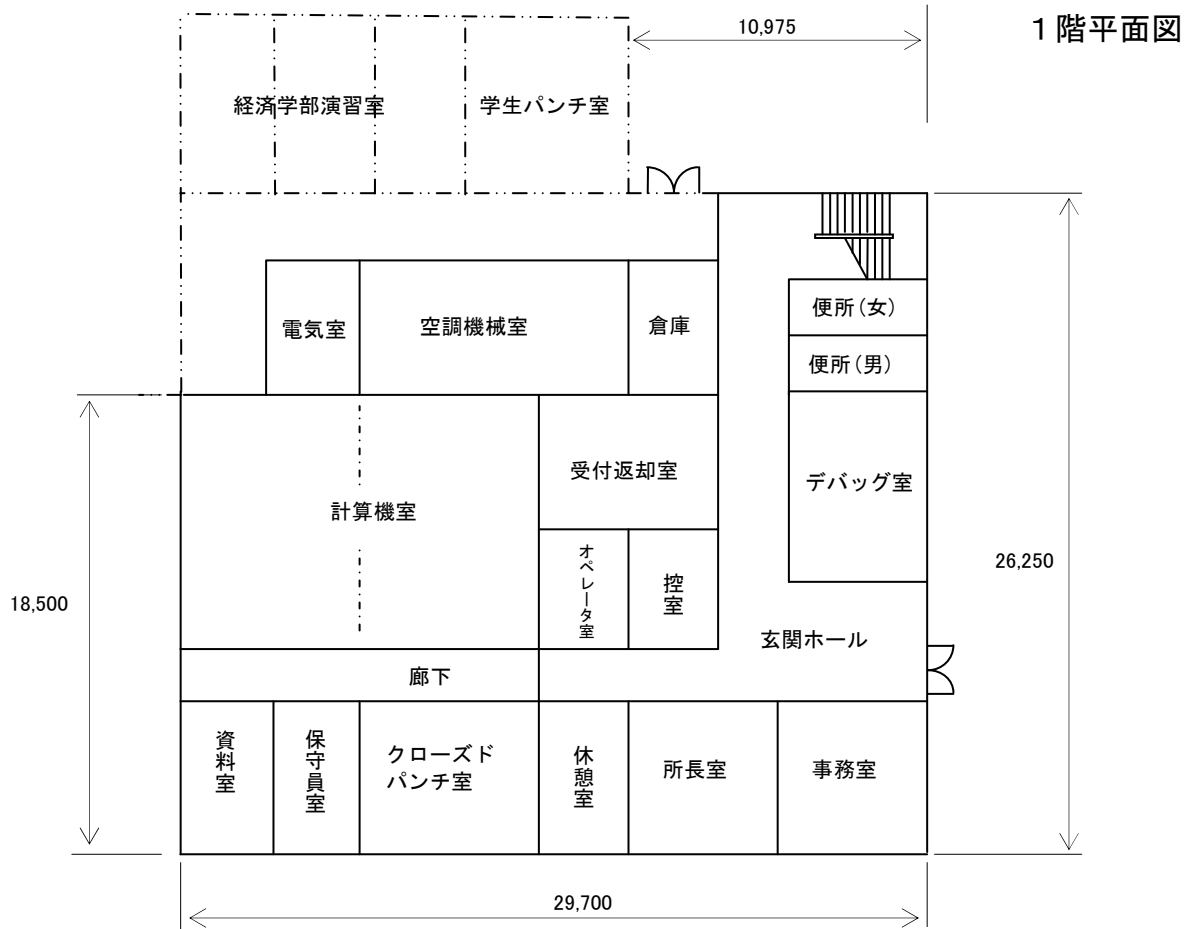
室名 (竣工当時)	昭和		平成							
	49年	58年	03年	07年	11年	15年	19年	22年	24年	25年
	4月	4月	2月	3月	3月	3月	3月	(3月)	3月	4月
計算機室	SINETノード室									
資料室			研究開発室 2			(倉庫)				
保守員室			研究開発室 1			(雛形作成室)		(教員スペース)		
クローズド パンチ室	教官端末室		センター長室・会議室				客員教授室 (平成20年3月) 会議室 (平成19年4月) 研究室		事務室	
廊下(東西)										
休憩室			事務室							
所長室・会議室										
事務室			P C ルーム I		P C ルーム 1・2					
玄関ホール										
デバッグ室										
廊下(南北)										
倉庫			玄関ホール					(改修による)		
便所										
受付返却室			オープン I / O 室					セミナー室(北半分)		
控室			廊下(南北)							
オペレータ室			図形処理室					セミナー室(南半分)		
階段										
(南4号館) 空調機械室								学生オープン スペース 1		
(南4号館) 電気室										
(南4号館) 廊下(凸部分)	(計算機室北出入口用スペース)							空調機械室		
(南4号館) 学生パンチ室			経済学部演習室				経済学部共同研究室 (平成19年4月)		学生オープンスペース 2 (平成24年5月)	

2 階

室名 (竣工当時)	昭和		平成							
	49年	58年	03年	07年	11年	15年	19年	22年	24年	25年
	4月	4月	2月	3月	3月	3月	3月	(3月)	3月	4月
階段・廊下										
演習室						P C ルーム 4				
データ解析室			P C ルーム II		P C ルーム 4		演習室		研究開発室 (雛形作成)	
教官デバッグ室			ワークステーションルーム		P C ルーム 3					
研究室(東)										
研究室(中)										
研究室(西)										
図書室			プログラム相談室			メディア開発室		鈴木研究室 (平成20年11月)		ek4事務室 (平成22年10月)

図 1

# 計算センター建物平面図(昭和49年) ー建物新営当時のものー



## 計算センター玄関



昭和60年頃の撮影と思われる。  
計算センターの玄関は建物の東側にあった。  
2本の金木犀は今も季節になると花を咲かせている。

## FACOM 230-45S(昭和49年運用開始)



## MELCOM COSMO 700S(昭和58年運用開始)



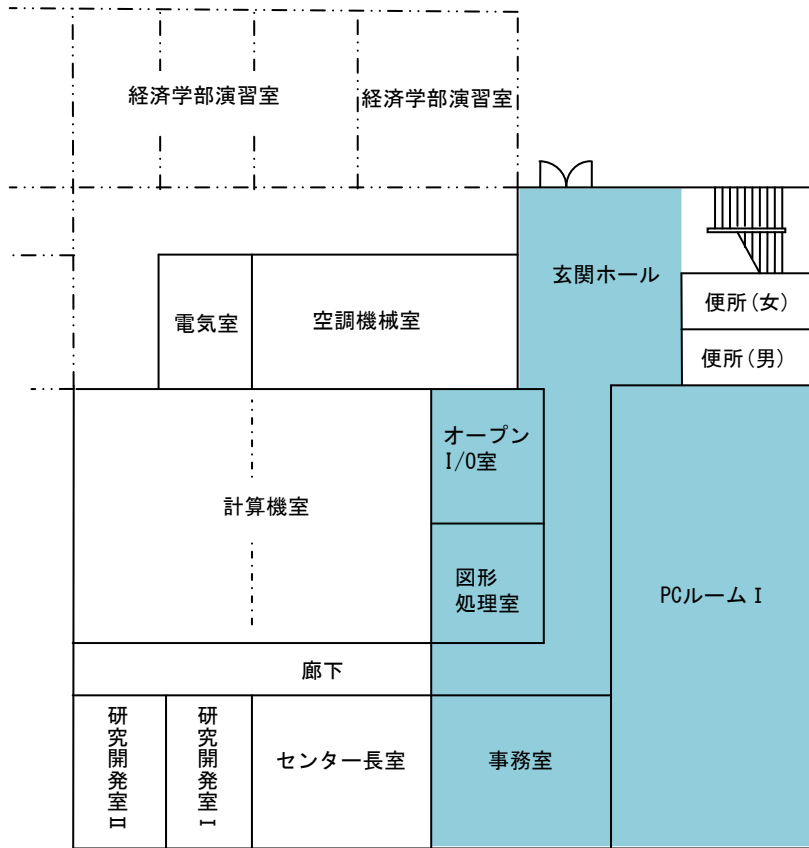
## 学生パンチ室(現学生オープンスペース2)



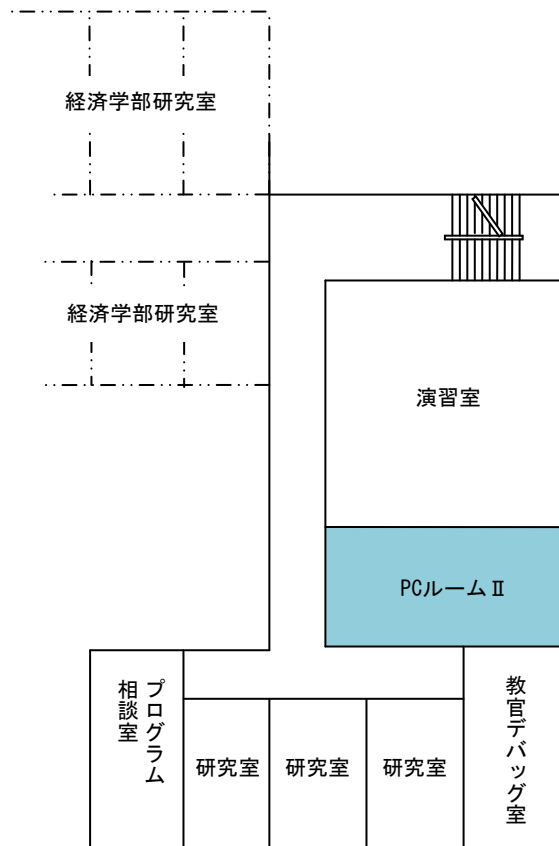
学生が操作しているのはTSS端末装置  
計算機室にあるMELCOM COSMO 700S とケーブルで接続されて  
いていた(昭和60年前後の頃)

図 2

# 情報処理センター建物平面図(平成3年2月)



1階平面図



2階平面図

情報処理センター建物全景(南2号館の3階より平成4年頃撮影)



開所式(平成3年2月27日)



「香川大学情報処理センター」の看板に向かって左側：  
木村等学長(当時)、右側：妻鳥敏彦センター長(当時)  
題字は木村学長の筆による。

## 香川大学情報処理センター開所式



看板を掲げる木村学長と妻鳥センター長

本学に設置されていた計算センターが、平成3年2月1日から情報処理センターに拡充整備されたことに伴い、平成3年2月27日(水)午前10時30分から情報処理センター演習室で開所式が行われ、学長をはじめ関係者約30名が出席した。

開所式では、妻鳥情報処理センター長、木村学長の挨拶があり、設備紹介などが行われた後、学長とセンター長により看板を掲げた。

新しい同センターには、日本電気のACOSシステム3600/10が導入され従前の計算センターとは規模・性能共に飛躍的にアップすることになった。充実したハードウェアと豊富なソフトウェアを揃え、情報処理教育の充実は勿論のこと入試関係・学務関係事務処理、図書館蔵書の検索、学内物品管理等にも利用していくことにしている。

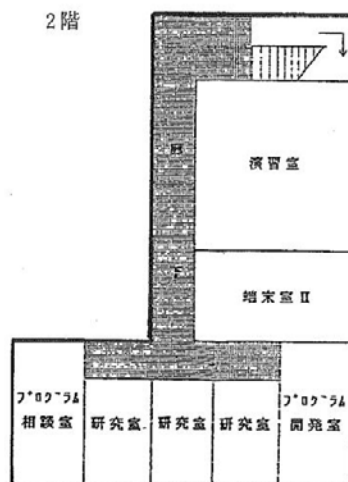
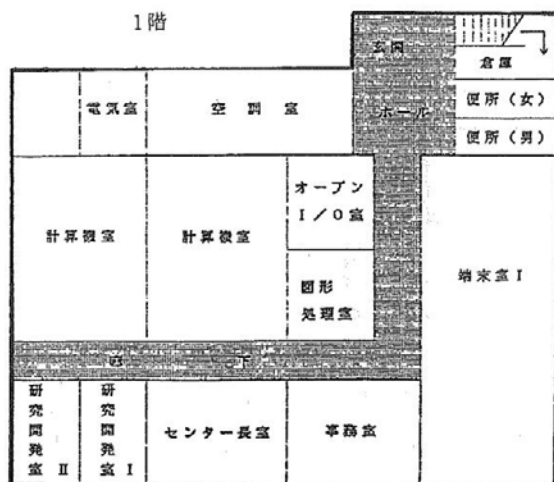
(情報処理センター)



情報処理センター全景



情報処理センター長挨拶



情報処理センター建物平面図

## 情報処理センターBBS開局記念式典の開催



本学情報処理センターBBS開局記念式典が12月19日(木)午後4時30分から同センターにおいて学内外の関係者約50人が出席して開催されました。式典では岡市学長、妻鳥情報処理センター長から挨拶があった後、BBSシステム概要説明及びデモンストレーション等が行われ、盛会裡に終了しました。

式典終了後、交友会館において出席者による懇親会が開催されました。

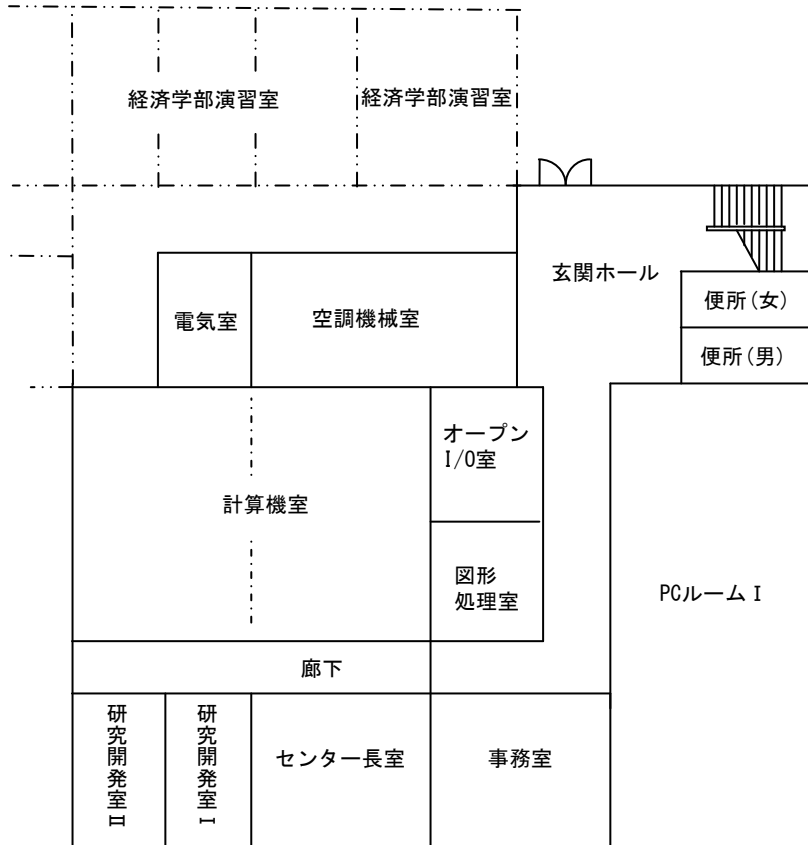
**BBSとは：** Bulletin Board Systemのことで、コンピュータネットワークを利用した、新しい形のコミュニケーション手段で、一般には、電子掲示板、電子メール、電子会議室、ソフトウェアライブラリ、オンラインショッピングなどのサービスが提供されます。

(情報処理センター)

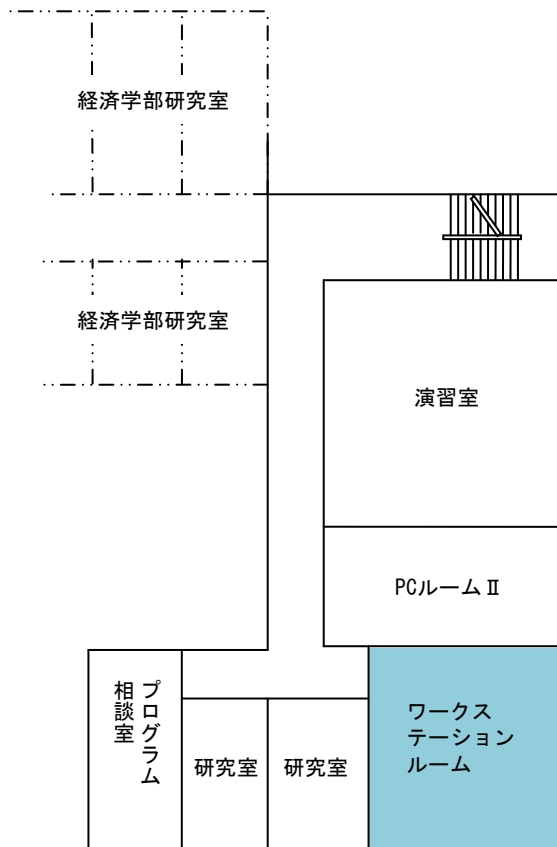


図3

# 情報処理センター建物平面図(平成7年3月)



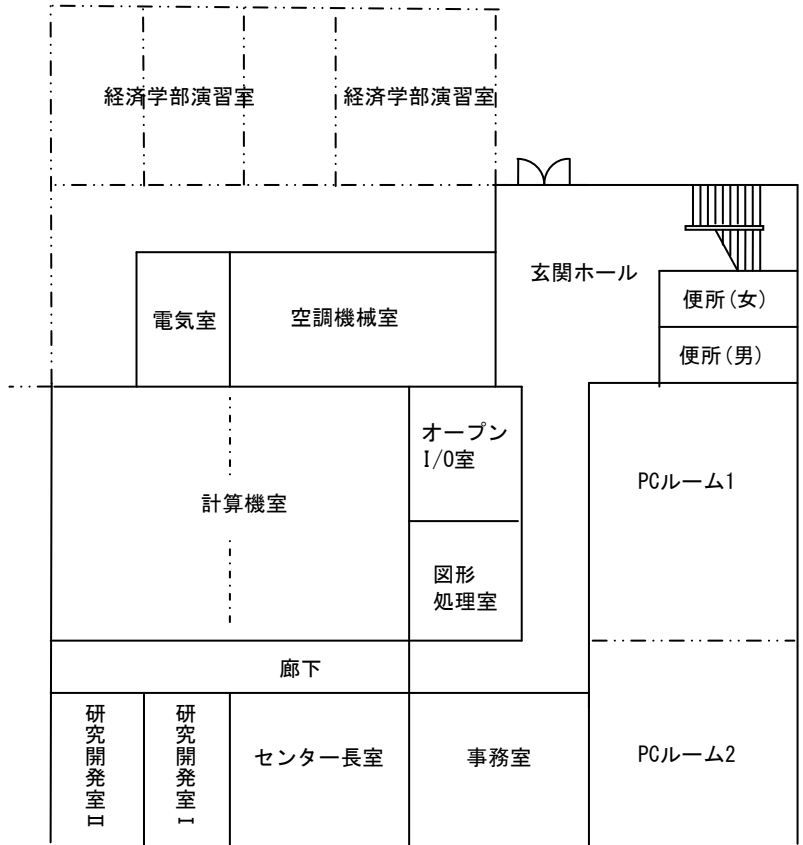
1階平面図



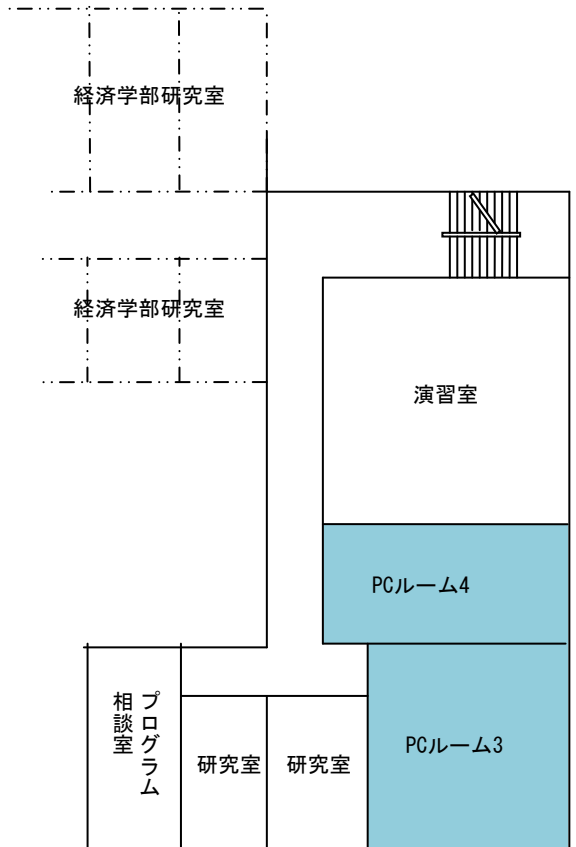
2階平面図

図 4

# 情報センター一建物平面図(平成11年3月)



1階平面図



2階平面図

図5

# 情報センター建物平面図(平成15年3月)

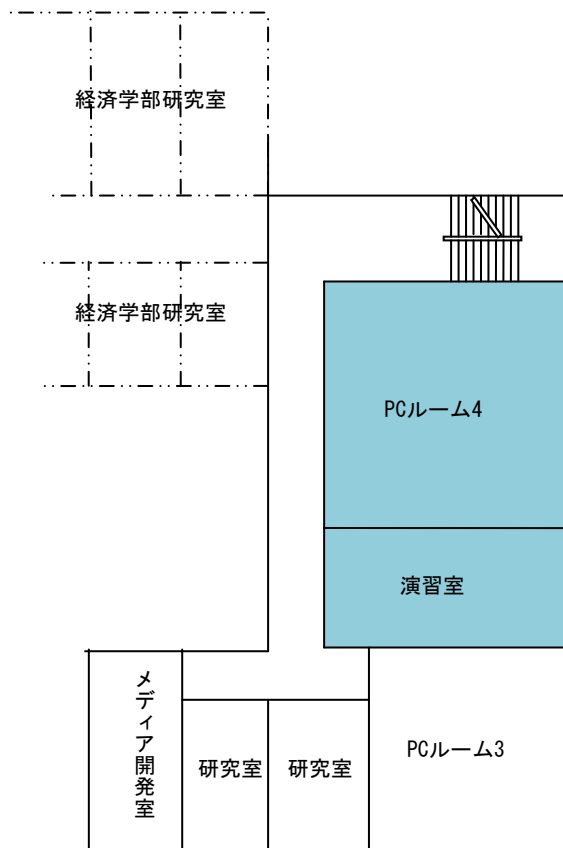
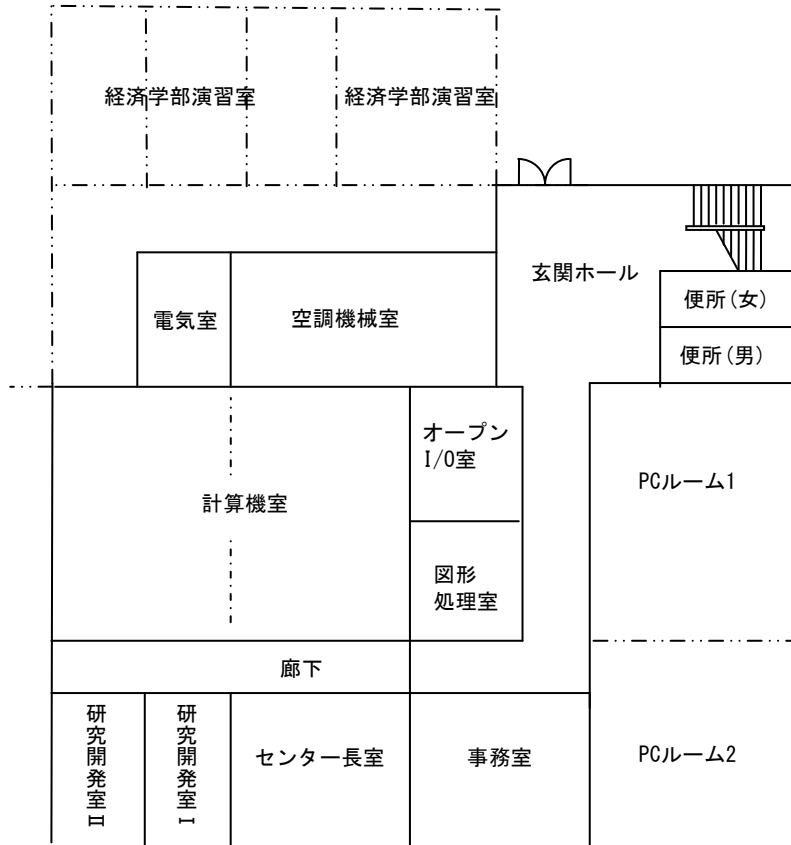
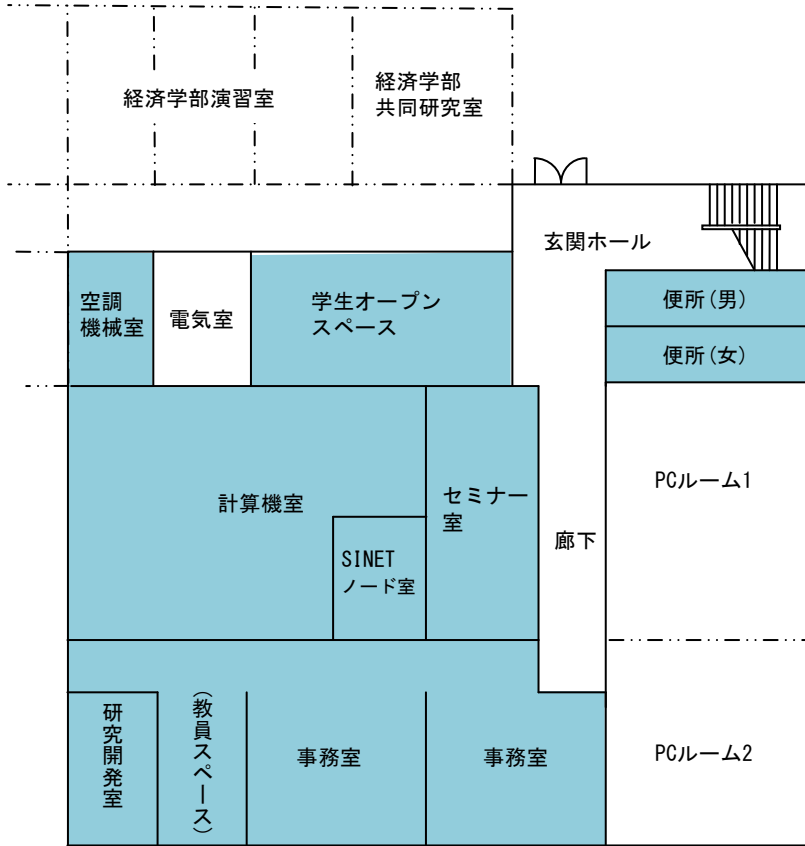


図 6

# 総合情報センター建物平面図 (平成22年3月)

1 階平面図



2 階平面図

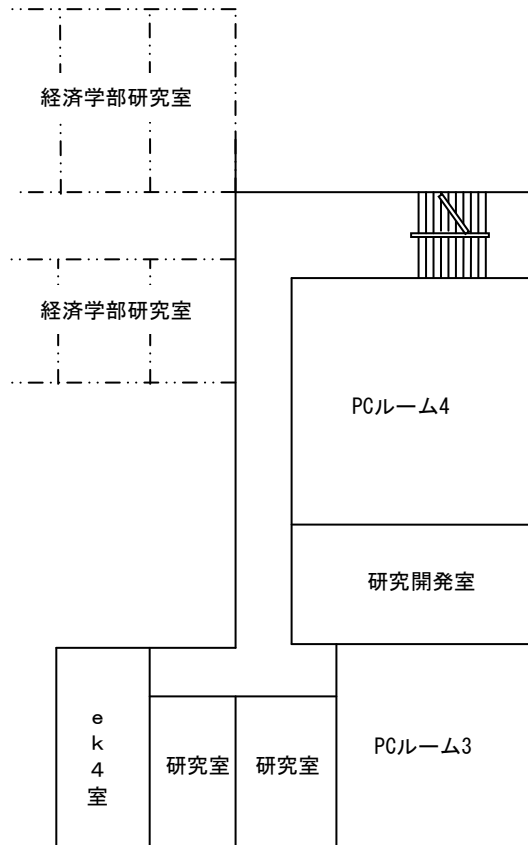
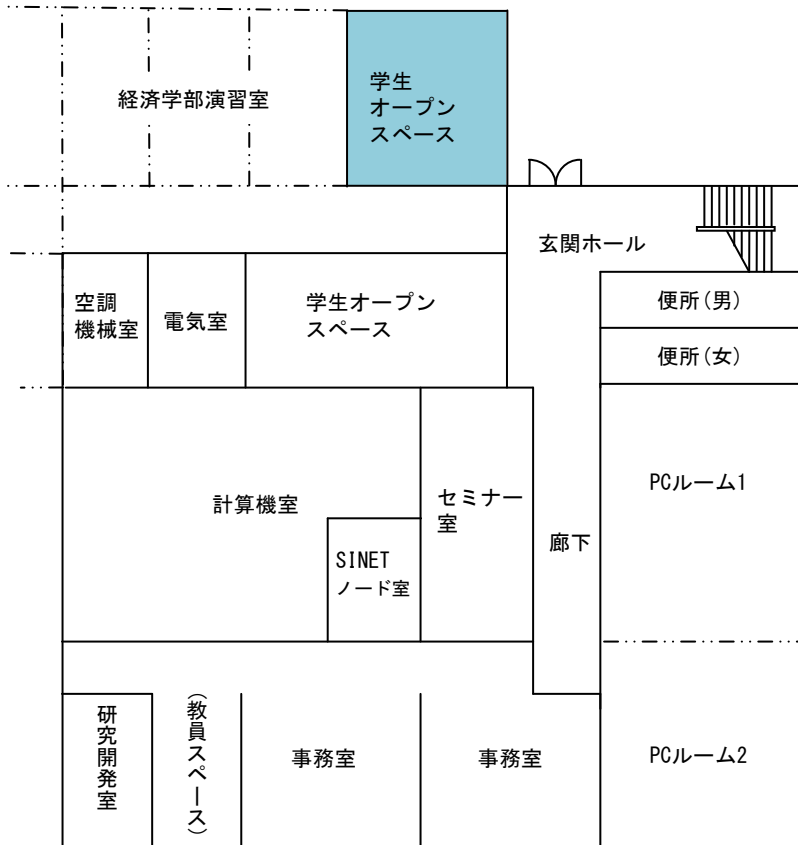
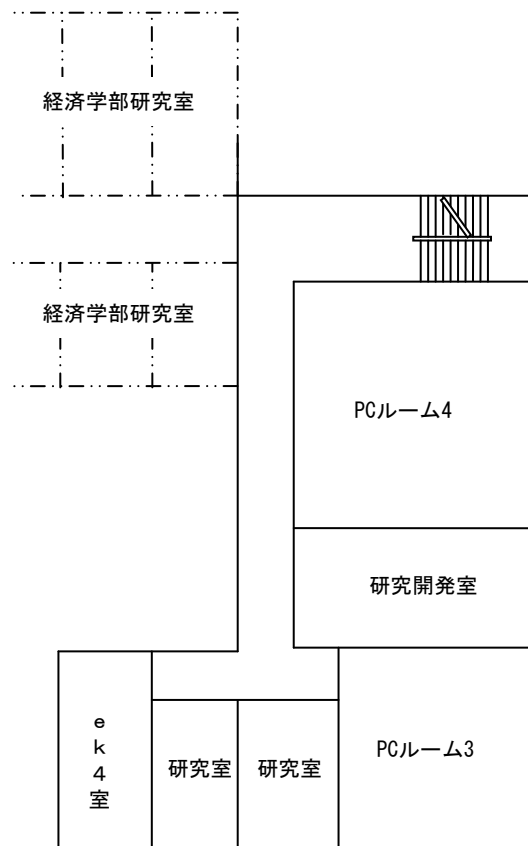


図7

# 総合情報センター建物平面図(平成24年5月)



1階平面図

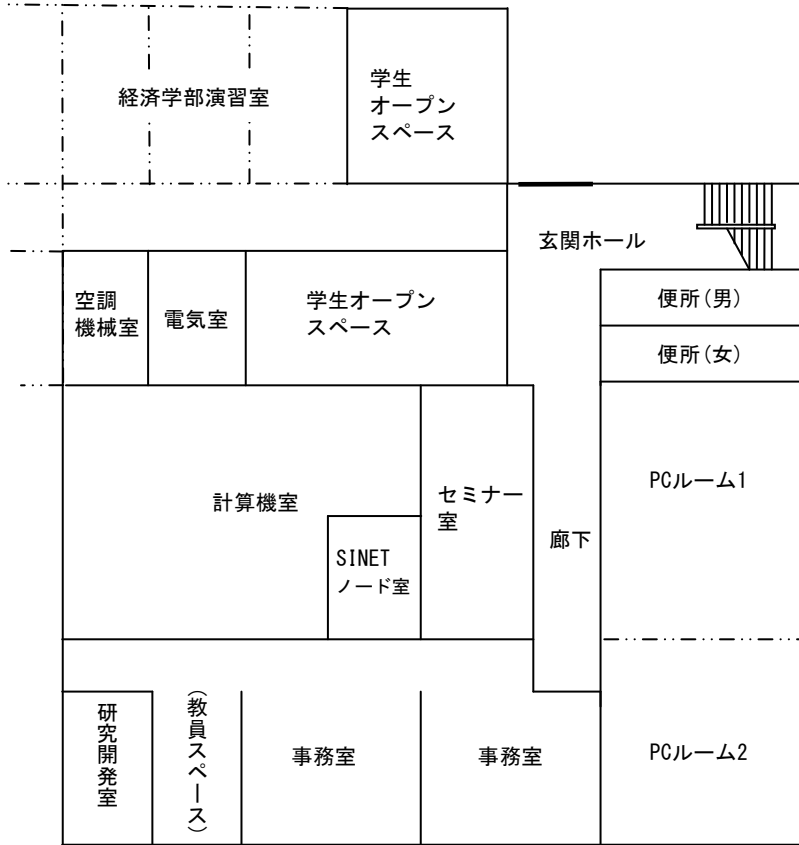


2階平面図

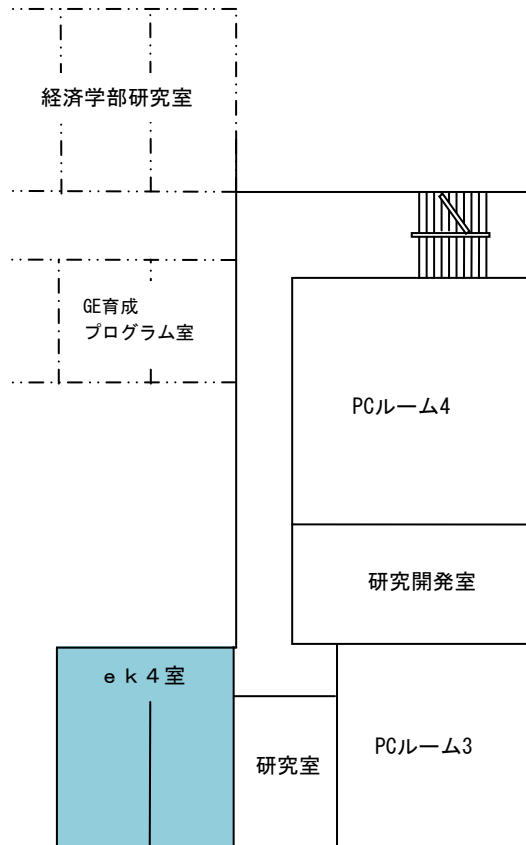
図 8

# 総合情報センター建物平面図(平成25年4月)

1階平面図



2階平面図





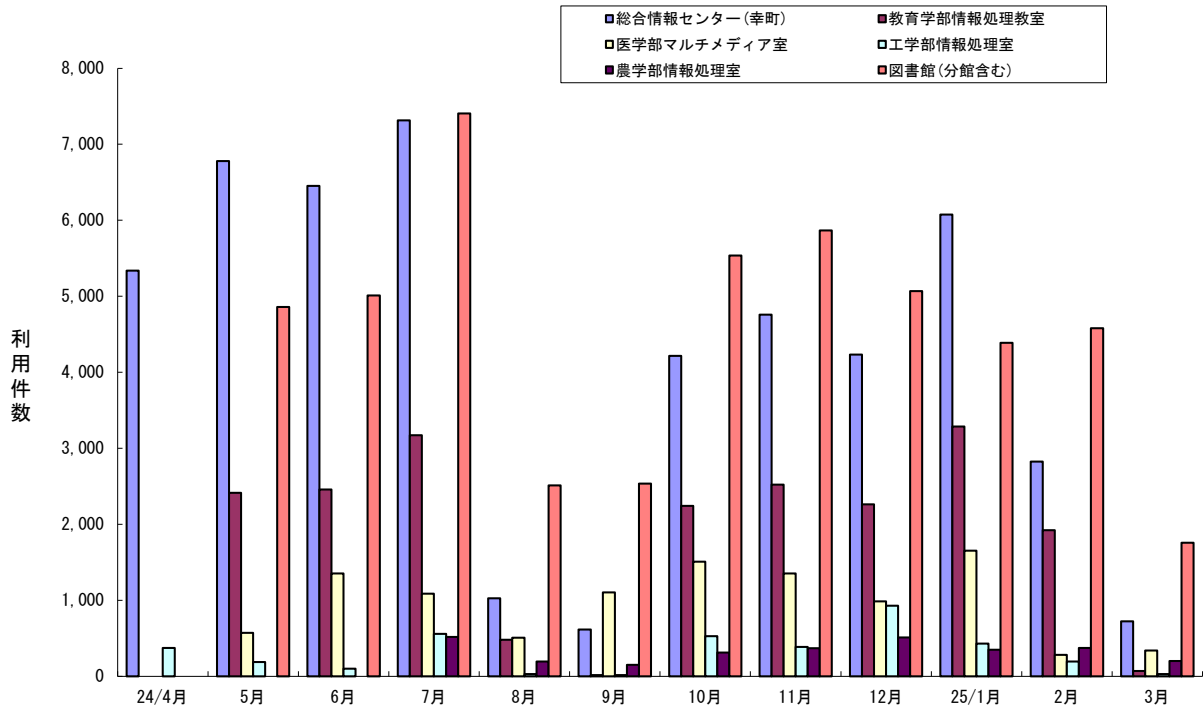
# 業務報告





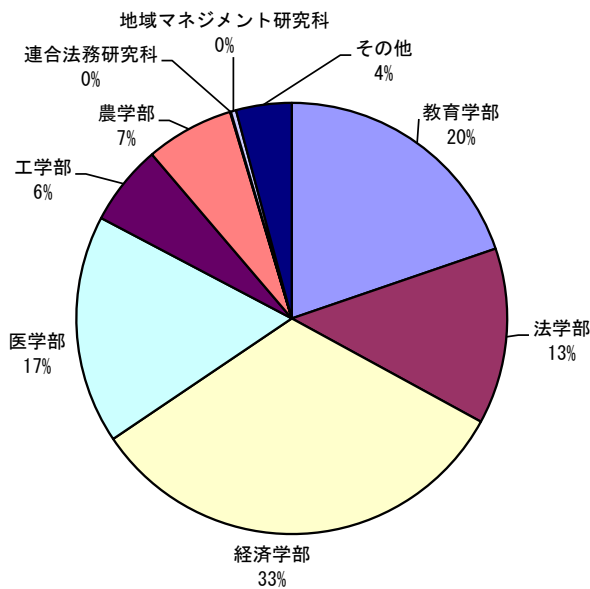
# 平成24年度パソコン室利用統計

## ・月別利用件数(設置部局別)

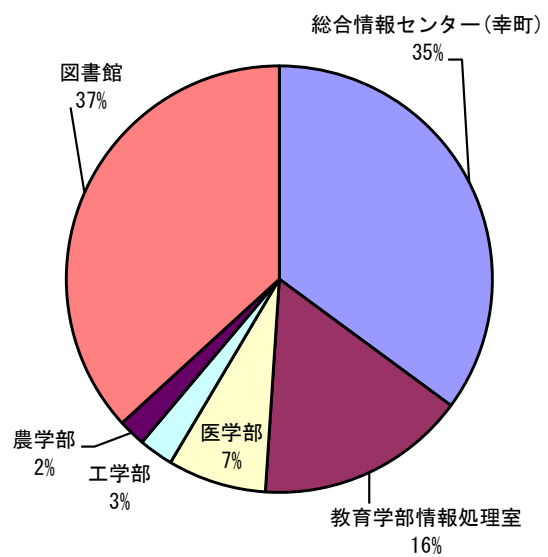


## ・部局・部屋別利用率(利用件数)

利用者部局別



部屋設置部局別



## ○総合情報センター(幸町)

### 利用件数

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部	81	50	59	76	54	46	107	100	91	150	65	31	910
法学部	1,315	1,597	1,544	1,717	273	180	856	887	794	918	628	139	10,848
経済学部	3,422	4,705	4,358	5,030	566	311	3,056	3,517	3,168	3,768	1,969	424	34,294
医学部	10	10	11	16	3	3	16	44	13	30	2	1	159
工学部	75	116	137	146	21	16	14	22	32	30	29	26	664
農学部	191	115	102	93	26	7	74	82	51	623	60	19	1,443
連合法務	19	6	0	7	0	0	3	3	1	2	0	0	41
地域マネ	23	25	90	106	26	9	11	27	16	18	6	0	357
その他	202	155	152	125	57	43	77	75	66	537	64	81	1,634
計	5,338	6,779	6,453	7,316	1,026	615	4,214	4,757	4,232	6,076	2,823	721	50,350

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部	3,281	3,230	3,310	6,508	5,743	4,149	9,776	9,169	9,631	11,637	7,149	3,857	77,440
法学部	80,039	108,032	110,388	122,061	19,707	15,182	54,965	57,473	59,091	72,815	54,074	10,775	764,602
経済学部	217,728	341,545	324,293	399,953	46,293	27,941	209,954	277,441	274,682	354,062	191,548	43,233	2,708,673
医学部	289	243	690	1,103	164	117	1,360	2,301	1,195	1,848	115	124	9,549
工学部	4,594	7,560	8,907	13,635	3,723	4,116	3,091	4,750	3,267	4,513	5,656	6,136	69,948
農学部	4,083	7,668	7,292	7,777	1,707	832	5,469	5,963	4,145	5,673	2,794	766	54,169
連合法務	549	153	0	397	0	0	727	147	3	306	0	0	2,282
地域マネ	2,052	1,300	15,851	17,665	1,945	239	261	2,030	2,365	2,227	845	0	46,780
その他	6,693	10,350	11,771	25,217	17,080	14,210	20,175	19,031	17,181	17,098	17,038	21,446	197,290
計	319,308	480,081	482,502	594,316	96,362	66,786	305,778	378,305	371,560	470,179	279,219	86,337	3,930,733

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

## ○教育学部情報処理室

### 利用件数

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部	1612	1,911	1,971	2,585	417	3	1,900	2,179	1,903	2,298	1,745	60	18,584
法学部	50	97	71	103	15	0	22	20	7	18	6	0	409
経済学部	71	110	114	122	5	0	52	57	49	59	25	1	665
医学部	106	122	138	152	29	0	96	90	97	145	51	3	1,029
工学部	70	135	126	138	1	0	74	106	94	122	69	1	936
農学部	24	5	14	14	2	2	8	3	40	288	7	1	408
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	38	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	43
その他	83	32	22	57	9	9	91	66	72	355	20	2	818
計	2,054	2,412	2,458	3,173	479	14	2,243	2,521	2,262	3,285	1,923	68	22,892

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部	79,829	116,106	125,901	172,814	30,678	301	130,879	158,516	136,519	179,110	154,844	3,132	1,288,629
法学部	2,967	6,338	5,015	8,023	1,194	0	1,472	2,344	606	1,011	478	0	29,448
経済学部	4,899	8,243	9,116	10,596	286	0	3,899	3,926	3,922	3,769	1,674	36	50,366
医学部	8,474	11,214	12,554	13,594	2,291	0	7,220	10,026	6,834	8,779	4,344	223	85,553
工学部	7,784	11,729	11,709	12,285	38	0	7,667	9,685	6,707	10,284	4,306	26	82,220
農学部	739	423	428	1,806	21	82	1,414	148	411	1,884	226	17	7,599
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	4,343	0	56	54	10	0	0	0	0	0	0	0	4,463
その他	6,506	2,456	1,879	9,526	1,609	2,134	8,514	6,963	3,623	4,494	2,651	126	50,481
計	115,541	156,509	166,658	228,698	36,127	2,517	161,065	191,608	158,622	209,331	168,523	3,560	1,598,759

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○医学部 注：4月分はデータが無し、5月分は13日までのデータは無し

利用件数

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計	
教育学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学部		551	1300	1048	465	754	1,497	1,327	708	1,425	279	292	9,646	
工学部		0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	7	
農学部		1	11	0	1	0	0	1	0	2	0	0	16	
連合法務		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域マネ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他		19	43	39	41	349	7	26	276	225	1	47	1,073	
計		0	571	1,354	1,087	507	1,103	1,509	1,354	986	1,652	280	339	10,742

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計	
教育学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学部		41,100	95,924	106,283	67,892	73,085	195,781	88,472	65,558	23,090	24,365	8,703	790,253	
工学部		0	0	0	0	0	266	0	122	0	0	0	388	
農学部		203	646	0	21	0	0	15	0	286	0	0	1,171	
連合法務		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域マネ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他		1,793	5,087	4,224	5459	3,377	594	3,155	6,231	3,085	10	149	33,164	
計		0	43,096	101,657	110,507	73,372	76,462	196,641	91,642	71,911	26,461	24,375	8,852	824,976

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○工学部演習室

利用件数

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計	
教育学部		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
法学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学部		0	0	0	0	0	0	0	203	0	0	0	203	
工学部		84	173	95	524	27	11	491	364	272	408	157	9	2,615
農学部		174	0	0	0	0	0	0	71	0	0	0	245	
連合法務		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域マネ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他		113	15	4	32	0	5	36	21	383	23	36	18	686
計		371	188	99	556	27	16	527	386	929	431	193	27	3,750

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計	
教育学部		0	0	0	0	0	0	170	0	0	0	0	170	
法学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学部		0	0	0	0	0	0	0	1,073	0	0	0	1,073	
工学部		6,033	15,633	7,775	62,910	3,242	1,173	60,683	53,349	40,311	74,430	17,899	1,033	344,471
農学部		1,078	0	0	0	0	0	0	125	0	0	0	1,203	
連合法務		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域マネ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他		2,748	2,058	62	3,389	0	701	2,934	2,804	4,565	3,162	861	796	24,080
計		9,859	17,691	7,837	66,299	3,242	1,874	63,617	56,323	46,074	77,592	18,760	1,829	370,997

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○農学部情報処理室 注：4、5、6月のデータは無し

利用件数

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部				6	2	3	4	0	1	4	4	0	24
法学部				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部				0	0	0	0	0	0	4	0	1	5
医学部				2	0	2	1	0	31	1	0	25	62
工学部				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農学部				454	153	125	260	330	336	310	347	151	2,466
連合法務				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他				55	40	21	45	39	144	30	21	24	419
計	0	0	0	517	195	151	310	369	512	349	372	201	2,976

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部				1,089	610	612	658	0	305	920	592	0	4,786
法学部				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部				0	0	0	0	0	0	887	0	132	1,019
医学部				330	0	48	82	0	222	83	0	5,225	5,990
工学部				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農学部				47,705	18,020	12,450	18,245	34,537	22,435	32,702	50,174	13,559	249,827
連合法務				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他				14,940	9,741	3,386	10,908	12,690	7,156	8,029	4,462	4,666	75,978
計	0	0	0	64,064	28,371	16,496	29,893	47,227	30,118	42,621	55,228	23,582	337,600

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○図書館(分館含む) 注：中央館は4月分のデータは無し、医学部分館は5月13日までのデータは無し、工学部・農学部分館は4、5、6月分は無し

利用件数

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部	698	986	834	1,156	643	237	880	811	756	721	791	310	8,823
法学部	801	910	791	964	344	236	745	751	651	630	637	217	7,677
経済学部	992	1,291	1,204	1,575	346	306	1,210	1,228	1,063	1,059	1,136	412	11,822
医学部	235	1,080	1,662	1,709	585	1,464	1,366	1,582	1,358	891	1,053	521	13,506
工学部	169	163	179	909	264	81	574	697	489	452	386	94	4,457
農学部	195	254	193	928	221	122	611	657	628	547	457	101	4,914
連合法務	9	2	2	1	1	1	3	1	4	7	9	7	47
地域マネ	24	24	26	17	13	12	11	18	14	3	4	3	169
その他	125	149	118	148	94	75	137	121	106	77	108	93	1,351
計	3,248	4,859	5,009	7,407	2,511	2,534	5,537	5,866	5,069	4,387	4,581	1,758	52,766

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	24/4	5	6	7	8	9	10	11	12	25/1	2	3	計
教育学部	48,466	73,525	65,474	105,400	52,042	18,593	59,810	71,552	68,382	77,891	75,628	28,718	745,481
法学部	53,624	60,990	58,665	79,148	30,187	20,715	63,748	71,896	71,424	74,367	72,209	20,049	677,022
経済学部	70,128	82,621	83,669	135,857	31,228	32,905	103,448	123,205	119,671	148,611	136,606	42,871	1,110,820
医学部	8,423	122,015	208,912	259,431	103,384	272,163	198,214	250,506	244,680	188,652	226,891	80,201	2,163,472
工学部	5,016	7,801	8,506	46,717	16,132	3,605	23,587	30,102	18,672	20,045	13,415	5,049	198,647
農学部	8,014	17,841	15,304	48,540	18,628	7,557	35,083	39,275	37,294	35,997	31,749	7,580	302,862
連合法務	681	26	18	5	44	73	260	34	71	660	1,491	320	3,683
地域マネ	1,666	2,041	1,841	1,736	1,129	868	1,203	2,215	1,831	465	374	184	15,553
その他	9,028	14,052	11,542	12,922	10,207	6,490	11,154	11,566	8,215	9,608	11,419	6,607	122,810
計	205,046	380,912	453,931	689,756	262,981	362,969	496,507	600,351	570,240	556,296	569,782	191,579	5,340,350

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

# 平成24年度総合情報センターPC利用実績

## PCルーム1, 2, 3

		月	火	水	木	金
8:50 I	前					
	後			経済統計A CommunicativeEnglishIV		
10:20 II	前	CommunicativeEnglish I		CommunicativeEnglish I	CommunicativeEnglish I	情報処理
	後			CommunicativeEnglish II		
12:00 III	前		情報リテラシー	情報処理リテラシーE(3)	CommunicativeEnglish I	
	後				CommunicativeEnglish II	
14:30 IV	前		情報リテラシー	マルチメディア処理		情報処理リテラシーE(5) CommunicativeEnglish I
	後	演習	プログラミング			演習
16:10 V	前	情報処理リテラシーE(1)	情報処理リテラシーE(2)	情報処理リテラシーE(4)	演習	
	後	調査データ分析	プロゼミ		演習	CommunicativeEnglishIV
17:50 VI	前	GSM統計分析	統計学B		情報リテラシー	
	後					
19:30 VII	前	GSM統計分析	統計学B		情報リテラシー	
	後					
備考	集中講義・講習会等 地域マネジメントガイダンス, ファイナンス・マネジメント, 公開講座(情報コミュニケーション), 大学の情報化に関するFD(OpenFlow技術とプログラマブルフロー)					

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成24年度総合情報センターPC利用実績

## 教育学部情報処理教室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前		統計学A	CommunicativeEnglishIII	情報メディアの活用	
	後			データ解析論		
10:20 II	前	CommunicativeEnglish I		情報リテラシー		
	後	CommunicativeEnglish II	計算機基礎			
12:00 III	前				CommunicativeEnglish I	
	後		シミュレーション物理		CommunicativeEnglish II	
13:00 IV	前	英語演習 I	数値解析		英語演習 I	
	後	計算機基礎	情報リテラシー		情報リテラシー	英語音声学 II
16:10 V	前	人間環境教育実践研究 入門	情報リテラシー			CommunicativeEnglishIII
	後	情報リテラシー	心理学実験 II		英語演習 II	CommunicativeEnglishIV
17:50 VI	前					
	後					
19:30 VII	前					
	後					
21:10 備考		集中講義・講習会等 公開講座:エクセルで学ぶ初心者のためのVBAプログラム入門, エクセルによる統計解析入門				

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成24年度総合情報センターPC利用実績

## 農学部情報処理室1, 2

		月	火	水	木	金
8:50 I	前					
	後					
10:20						
10:30 II	前					
	後	研究室ゼミ				
12:00						
13:00 III	前					研究室ゼミ
	後					研究室ゼミ
14:30						
14:40 IV	前					
	後					
16:10						
16:20 V	前					
	後					
17:50						
18:00 VI	前					
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考	集中講義・講習会等					

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。



# 平成24年度総合情報センターPC利用実績

## 工学部演習室(6403)

		月	火	水	木	金	
8:50 I	前			情報リテラシー/ プログラミング I	電磁気学 II		
	後		環境情報解析学	プログラミング/プログラミング II			
10:20							
10:30 II	前		計算機材料設計		電磁気学演習 II	空間情報工学	
	後			プログラミング/プログラミング II	暗号とセキュリティ		
12:00							
13:00 III	前		電子情報通信実験 I	大学入門ゼミ			
	後		3次元CAD	プログラミング/プログラミング II	アルゴリズム演習		
14:30							
14:40 IV	前		電子情報通信実験 I	プログラミング II	プログラミング II	材料創造工学実験 II	
	後		3次元CAD	プログラミング/プログラミング II	アルゴリズム演習		
16:10							
16:20 V	前					材料創造工学実験 II	
	後		3次元CAD				
17:50							
18:00 VI	前					材料創造工学実験 II	
	後						
19:30							
19:40 VII	前						
	後						
21:10							
備考		集中講義・講習会等					

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成24年度総合情報センターPC利用実績

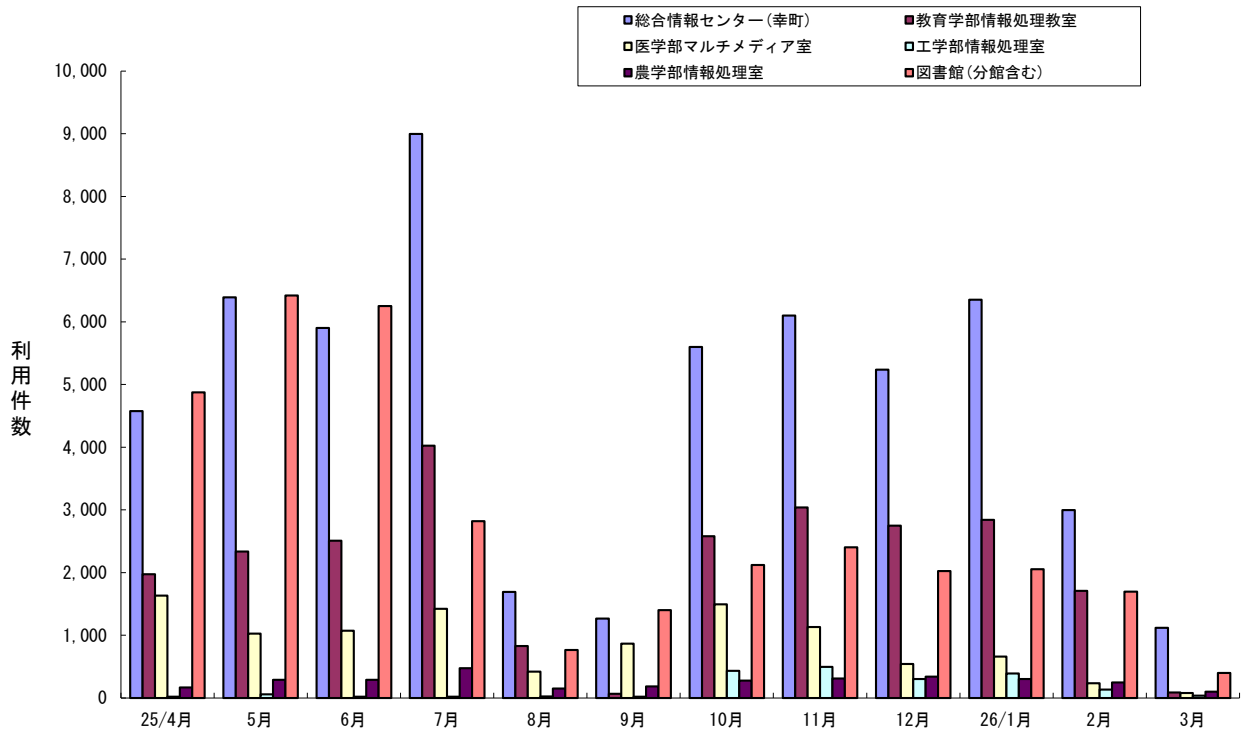
## 医学部マルチメディア実習室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前	保健統計論				看護研究基礎論
	後					
10:20						
10:30 II	前	疫学			大学入門ゼミ	
	後					
12:00						
13:00 III	前					
	後					
14:30						
14:40 IV	前	医療管理学		情報リテラシー(看護)		
	後			情報リテラシー(医学)		
16:10						
16:20 V	前	医療管理学				
	後			情報リテラシー(医学)		
17:50						
18:00 VI	前					
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考		集中講義・講習会等 新入生ガイダンス, 衛生学実習, 地域援助論, 地域看護学実習, 医学教育センター, 医療情報部, 臨床科学, 地域看護管理論, 看護マネジメント, CBT				

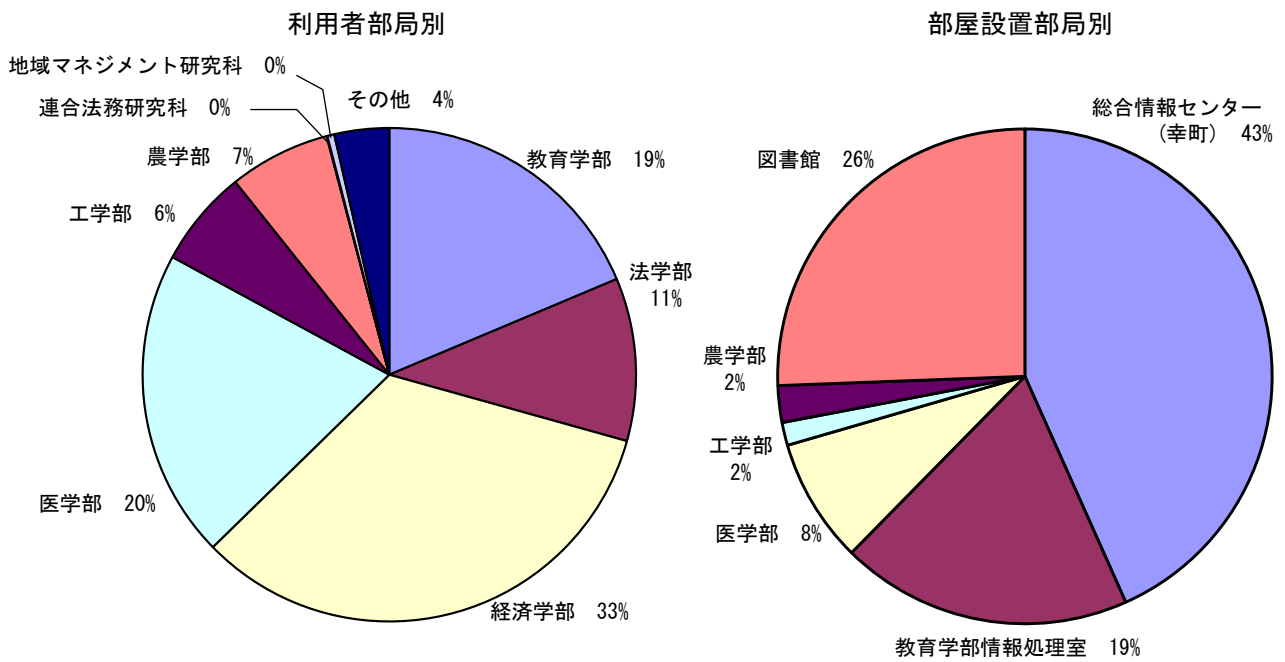
この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成25年度パソコン室利用統計

## ・月別利用件数(設置部局別)



## ・部局・部屋別利用率(利用件数)



## ○総合情報センター(幸町)

### 利用件数

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	40	40	46	143	124	139	134	138	99	192	85	105	1,285
法学部	718	1,291	1,216	2,250	381	323	1,259	1,281	920	1,269	711	188	11,807
経済学部	3,042	4,699	4,229	6,061	967	657	3,926	4,369	4,006	4,631	2,025	644	39,256
医学部	143	2	44	35	15	3	33	34	20	26	17	5	377
工学部	25	31	25	69	33	12	48	51	23	43	32	29	421
農学部	56	39	26	98	30	21	48	28	26	32	20	24	448
連合法務	19	12	7	9	2	0	2	0	0	2	1	0	54
地域マネ	88	46	89	169	55	21	22	15	19	22	11	1	558
その他	444	228	221	160	82	88	128	185	123	134	94	121	2,008
計	4,575	6,388	5,903	8,994	1,689	1,264	5,600	6,101	5,236	6,351	2,996	1,117	56,214

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	1,788	1,660	3,150	10,225	11,328	14,283	10,260	10,383	8,295	23,403	9,306	11,805	115,886
法学部	39,565	84,327	78,657	141,738	26,891	22,368	76,248	84,513	61,307	95,921	48,944	15,191	775,670
経済学部	202,578	344,738	320,092	453,673	85,952	67,000	288,296	333,104	344,345	441,397	178,117	64,712	3,124,004
医学部	874	2	515	4,024	922	91	3,347	1,697	1,220	1,305	754	524	15,275
工学部	3,717	5,052	4,834	7,707	4,157	2,428	5,568	4,982	3,273	5,430	3,954	5,573	56,675
農学部	2,249	1,863	1,139	8,946	2,047	1,288	2,728	2,268	1,321	1,755	1,101	1,109	27,814
連合法務	878	237	257	360	15	0	6	0	0	99	18	0	1,870
地域マネ	8,318	2,667	9,747	27,310	7,733	1,652	1,598	841	2,089	3,554	1,621	12	67,142
その他	33,479	41,121	40,480	37,654	24,702	26,140	30,414	32,638	28,683	32,508	40,685	32,178	400,682
計	293,446	481,667	458,871	691,637	163,747	135,250	418,465	470,426	450,533	605,372	284,500	131,104	4,585,018

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

## ○教育学部情報処理室

### 利用件数

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	1306	1,742	1,911	3,194	677	65	2,178	2,633	2,356	2,485	1,533	87	20,167
法学部	3	5	18	25	1	0	9	6	5	8	8	0	88
経済学部	120	183	219	225	29	0	25	43	24	46	19	0	933
医学部	242	158	145	228	78	0	106	113	110	107	31	0	1,318
工学部	70	141	139	203	9	0	166	131	169	110	75	0	1,213
農学部	1	3	12	54	6	0	23	29	23	18	11	0	180
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	232	102	62	96	28	2	74	85	61	68	29	0	839
計	1,974	2,334	2,506	4,025	828	67	2,581	3,040	2,748	2,842	1,706	87	24,738

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	63,654	111,395	115,340	222,668	48,111	30,835	135,655	187,306	174,265	186,732	126,318	9,366	1,411,645
法学部	175	191	777	1,095	14	0	504	585	440	1,467	193	0	5,441
経済学部	9,865	17,203	21,090	18,649	3,499	0	1,104	2,306	1,105	2,575	598	0	77,994
医学部	10,627	13,605	10,157	18,184	4,212	0	6,674	9,567	7,007	7,637	2,170	0	89,840
工学部	4,646	13,524	10,611	14,105	272	0	13,241	10,449	12,526	8,800	2,689	0	90,863
農学部	14	161	250	3,338	337	0	1,655	2,044	1,495	1,611	570	0	11,475
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,006	7,847	6,247	10,010	9,469	1	7,356	12,276	5,885	6,889	2,685	0	76,671
計	96,987	163,926	164,472	288,049	65,914	30,836	166,189	224,533	202,723	215,711	135,223	9,366	1,763,929

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

## ○医学部

### 利用件数

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	1417	936	1048	1380	408	735	1,457	1,116	535	506	232	78	9,848
工学部	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	213	90	23	39	11	130	35	12	5	151	3	0	712
計	1,630	1,026	1,071	1,419	419	865	1,492	1,129	541	657	235	78	10,562

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	122,734	115,997	121,632	145,702	83,735	92,414	191,043	108,559	46,298	15,527	15,817	7,271	1,066,729
工学部	0	0	0	0	0	0	0	78	98	0	0	0	176
農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	13,686	11,370	2,640	11,230	2665	1,444	1,774	913	457	7,295	204	0	53,678
計	136,420	127,367	124,272	156,932	86,400	93,858	192,817	109,550	46,853	22,822	16,021	7,271	1,120,583

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

## ○工学部演習室

### 利用件数

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
工学部	15	17	9	7	11	8	390	458	277	364	108	31	1,695
農学部	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	39	9	14	14	10	39	34	21	24	15	6	230
計	20	56	18	21	25	18	432	495	300	391	131	37	1,944

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	25
工学部	1,941	1,307	598	514	1,047	1,051	46,065	55,294	33,106	52,394	14,174	10,015	217,506
農学部	0	0	0	0	0	0	245	296	192	242	0	0	975
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	595	1,560	968	1,024	739	918	3,231	3,746	2,158	2,488	805	211	18,443
計	2,536	2,867	1,566	1,538	1,786	1,969	49,541	59,336	35,456	55,124	15,004	10,226	236,949

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

## ○農学部情報処理室

### 利用件数

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	8	13	7	8	14	15	16	14	10	3	3	1	112
工学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農学部	149	265	278	454	127	168	254	289	327	292	242	96	2,941
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	10	12	4	11	7	2	5	8	0	4	0	0	63
計	167	290	289	473	148	185	275	311	337	299	245	97	3,116

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	1,742	3,227	1,598	1,148	2,054	2,415	1,281	1,289	1,627	107	164	155	16,807
工学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農学部	20,218	23,384	36,194	59,517	38,355	32,301	47,504	38,167	49,550	49,042	60,930	16,462	471,624
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	388	511	67	293	1,607	144	163	331	0	99	0	0	3,603
計	22,348	27,122	37,859	60,958	42,016	34,860	48,948	39,787	51,177	49,248	61,094	16,617	492,034

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

## ○図書館(分館含む) 注：中央館は7月分以降のデータは改修工事のため無し

### 利用件数

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	730	988	1,052	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2,772
法学部	481	698	774	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,953
経済学部	859	1,119	1,120	1	0	1	0	0	0	1	1	0	3,102
医学部	1,370	1,590	1,519	1,436	528	1,253	1,305	1,554	1,354	1,269	1,124	284	14,586
工学部	567	892	770	690	125	60	396	421	341	357	264	46	4,929
農学部	557	926	755	681	100	76	411	423	321	415	300	63	5,028
連合法務	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
地域マネ	7	12	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他	304	192	234	12	12	10	10	5	7	9	6	3	804
計	4,875	6,417	6,250	2,821	766	1,400	2,122	2,403	2,023	2,051	1,695	396	33,219

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

### 延べ利用時間(分)

学 部	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
教育学部	54,466	72,589	77,282	70	10	0	0	0	0	0	0	0	204,417
法学部	33,818	48,155	56,792	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,765
経済学部	69,353	91,406	95,257	125	0	48	0	0	0	52	2	0	256,243
医学部	158,402	206,687	189,296	228,708	100,541	324,117	184,396	274,263	298,181	295,369	231,057	61,675	2,552,692
工学部	20,643	34,036	33,269	30,152	6,226	2,193	14,155	19,967	12,186	15,962	17,970	2,010	208,769
農学部	22,593	47,847	52,677	33,842	6,375	11,996	22,037	30,751	25,752	28,365	26,320	3,623	312,178
連合法務	0	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131
地域マネ	427	1,138	3,027	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,592
その他	38,903	17,973	25,800	940	853	631	1,081	122	653	486	325	97	87,864
計	398,605	519,831	533,531	293,837	114,005	338,985	221,669	325,103	336,772	340,234	275,674	67,405	3,765,651

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

# 平成25年度総合情報センターPC利用実績

## PCルーム1, 2, 3

		月	火	水	木	金
8:50 I	前					
	後			経済統計A		
10:20 II	前	知識処理		情報処理		
	後		データベース	日本語Ⅱa		
12:00 III	前		情報リテラシー	情報リテラシー	情報システム論	大学入門ゼミ
	後		プログラミング			
14:30 IV	前	演習	情報リテラシー	情報リテラシー	演習	情報リテラシー
	後	演習			演習	
16:10 V	前	情報リテラシー	情報リテラシー		演習	
	後	計量経済学Ⅱ	プロゼミ		演習	Communicative EnglishⅣ
17:50 VI	前	演習Ⅰ	情報システム		情報リテラシー 統計分析	
	後	演習Ⅰ	経済統計			
19:30 VII	前			MBAのための 数学セミナー	情報リテラシー GSM統計分析	
	後		経済統計			
21:10 備考		集中講義・講習会等 地域マネジメント研究科PC利用ガイダンス, 法律情報処理, 公開講座(ソーシャルメディア入門), 大学説明会見学, 主 題B, ファイナンス・マネジメント, 情報グループ主催セミナー, 大学の情報化に関するFD・SD, 図書館Libガイド, フラ ンス海外研修				

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成25年度総合情報センターPC利用実績

## 教育学部情報処理教室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前	英語演習 I				
	後			データ解析論		
10:20 II	前	Communicative English I T(2)	日本語 I b	情報リテラシー		情報とコミュニケーション
	後	Communicative English II T(4)	計算機基礎 英語演習 II	情報基礎 II		
12:00 III	前		調査データ分析		Communicative English I M(2)	
	後	シミュレーション物理			Communicative English II M(4)	
14:30 IV	前					
	後		情報リテラシー		情報リテラシー	英語音声学 II
16:10 V	前	人間環境教育 実践研究入門	情報リテラシー 教育情報特論			計算機物理学特論
	後	情報リテラシー	心理学実験 II			
17:50 VI	前					
	後					
19:30 VII	前					
	後					
21:10 備考		集中講義・講習会等 教員免許状更新講習, 学校図書館司書教諭講習, 教育統計学				

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。



# 平成25年度総合情報センターPC利用実績

## 農学部情報処理室1, 2

		月	火	水	木	金
8:50 I	前					
	後					
10:20						
10:30 II	前					専攻セミナー
	後					
12:00						
13:00 III	前					
	後					専門英語
14:30						
14:40 IV	前					
	後					
16:10						
16:20 V	前					
	後					
17:50						
18:00 VI	前					
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考	集中講義・講習会等					

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成25年度総合情報センターPC利用実績

## 工学部演習室(6403)

		月	火	水	木	金
8:50 I	前			情報リテラシー/ プログラミング I	電磁気学 II	
	後		環境情報解析学	プログラミング/プログラミング II		
10:20						
10:30 II	前				電磁気学演習 II	
	後		マルチメディア処理論	プログラミング/プログラミング II	暗号とセキュリティ	
12:00						
13:00 III	前		電子情報通信実験 I / 信 性情報システム工学実験 I	大学入門ゼミ		
	後		計算機材料設計学	プログラミング/プログラミング II	アルゴリズム演習	
14:30						
14:40 IV	前		電子情報通信実験 I / 信 性情報システム工学実験 I	電子・情報工学プログラ ミンク/プログラミンク II	電子・情報工学プログラ ミンク/プログラミンク II	材料創造工学実験 II
	後		3次元製図/3次元CAD	プログラミング/プログラミング II	アルゴリズム演習	
16:10						
16:20 V	前		信頼性情報 システム工学実験 I	電子・情報工学プログラ ミンク/プログラミンク II	電子・情報工学プログラ ミンク/プログラミンク II	材料創造工学実験 II
	後		3次元製図/3次元CAD			プログラミング/プログラミング II
17:50						
18:00 VI	前					材料創造工学実験 II
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考		集中講義・講習会等				

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

# 平成25年度総合情報センターPC利用実績

## 医学部マルチメディア実習室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前	保健統計論				看護研究基礎論
	後					
10:20						
10:30 II	前	疫学			大学入門ゼミ	
	後					
12:00						
13:00 III	前					
	後					
14:30						
14:40 IV	前	医療管理学		情報リテラシー(看護)		
	後			情報リテラシー(医学)		
16:10						
16:20 V	前	医療管理学				
	後			情報リテラシー(医学)		
17:50						
18:00 VI	前					
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考		集中講義・講習会等 新入生ガイダンス, 衛生学実習, 地域援助論, 地域看護学実習, 医学教育センター, 医療情報部, 臨床科学, 地域看護管理理論, 看護マネジメント, CBT				

この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

## 平成24年度・平成25年度開催の会議および行事

平成24年(2012年)

4月

- 4 (水) 入学式ライブ中継
- 13 (金) 平成24年度第1回総合情報センタースタッフ会議
- 20 (金) 平成24年度第1回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議

5月

- 11 (金) 平成24年度第2回総合情報センタースタッフ会議
- 18 (金) 平成24年度第2回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議
- 24 (木) 総合情報センターネットワークシステム導入打ち合わせ(第1回)

6月

- 7 (木) 平成24年度第1回総合情報センター会議
- 8 (金) 平成24年度第3回総合情報センタースタッフ会議
- 11 (月) キャンパス間等接続サービス仕様策定委員会(第1回)
- 14 (木) 総合情報センターネットワークシステム導入打ち合わせ(第2回)
- 15 (金) 平成24年度第3回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議
- 18 (月) キャンパス間等接続サービス仕

様策定委員会(第2回)

- 23 (土) 第6回セキュリティうどん(かまたま)(香川大学)(主催:Zou団、共催:香川大学総合情報センター)
- 26 (火) 総合情報センターネットワークシステム導入打ち合わせ(オープンネットガード)
- 27 (水) 平成24年度第1回図書館・情報機構会議
- 29 (金) 第9回国立大学法人情報系センター協議会総会(東京学芸大学)

7月

- 12 (木) 総合情報センターネットワークシステム導入打ち合わせ(第3回)
- 13 (金) 平成24年度第4回総合情報センタースタッフ会議
- 20 (金) 平成24年度第4回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議
- 26 (木) 学術情報基盤オープンフォーラムSINETクラウド接続サービス利用説明会(香川大学)(主催:国立情報学研究所)
- 27 (金) 大学の情報化に関するFD(OpenFlow技術とプログラマブルフロー)(主催:香川大学総合情報センター)

8月

- 2 (木) 総合情報センターネットワーク  
システム導入打ち合わせ (第4回)
- 13 (月) 夏季一斉休業 (17日まで)
- 28 (火) 総合情報センターネットワーク  
システム導入打ち合わせ (第5回)
- 9月
- 7 (金) 平成24年度第5回総合情報セ  
ンタースタッフ会議
- 8 (土) 教育システム情報学会 第3回  
研究会 (香川大学) (主催:教育シ  
ステム情報学会、共催:香川大学総  
合情報センター)
- 12 (水) 学術認証フェデレーション20  
12年度 学認CAMP (香川大  
学) (主催:国立情報学研究所、共  
催:香川大学総合情報センター)
- 13 (木) 第7回情報系センター研究交  
流・連絡会議及び第16回学術情報  
処理研究集会 (香川大学) (14日  
まで)
- 20 (木) 管理者向け利用者講習会 (I n f  
o b l o x (DNS) 説明会)
- 21 (金) 管理者向け利用者講習会 (ネット  
ワーク監視装置説明会)  
平成24年度第5回総合情報セ  
ンター専門委員会  
富士通連絡会議
- 27 (木) 管理者向け利用者講習会 (オーブ  
ンネットガード説明会)
- 10月
- 1 (月) 香川大学総合情報ネットワーク  
システム運用開始
- 12 (金) 平成24年度第6回総合情報セ  
ンタースタッフ会議
- 19 (金) 平成24年度第6回総合情報セ  
ンター専門委員会  
平成24年度大型計算機利用大  
阪地区 (第6地区) 協議会総会報告  
(大阪大学)  
富士通連絡会議
- 25 (木) 平成24年度国立大学法人等情  
報化発表会 (九州大学) (26日ま  
で)
- 11月
- 9 (金) 平成24年度第7回総合情報セ  
ンタースタッフ会議
- 12 (月) 大学の情報化に関するFD (音声  
認識技術、テキストマイニング、自  
然言語処理、AI研究等の最新動  
向) (香川大学) (主催:総合情報  
センター)
- 16 (金) 平成24年度第7回総合情報セ  
ンター専門委員会  
富士通連絡会議
- 12月
- 6 (木) 総合情報センターネットワーク  
システム導入打ち合わせ (第6回)
- 7 (金) かがわ情報化推進協議会設立2  
0周年記念事業 IPAセミナー i  
n高松〜セキュリティとソフトウ  
ェアエンジニアリング〜 (高松シン  
ボルタワー タワー棟5階 e-とぴ  
あ・かがわBBスクエア) (主催:  
かがわ情報化推進協議会、共催:独  
立行政法人情報処理推進機構 (IP

A)、e-とびあ・かがわ、後援：  
情報処理学会四国支部、香川大学総  
合情報センター)

- 8 (土) 第7回セキュリティうどん(かま  
たま)(香川大学)(主催:Zou  
団、共催:香川大学総合情報センタ  
ー)
- 11 (火) 総合情報センターネットワーク  
システム導入打ち合わせ(無線LAN)
- 14 (金) 平成24年度第8回総合情報セ  
ンタースタッフ会議
- 21 (金) 平成24年度第8回総合情報セ  
ンター専門委員会  
富士通連絡会議
- 29 (土) 年末年始休業(1月3日まで)

## 平成25年(2013年)

### 1月

- 11 (金) 平成24年度第9回総合情報セ  
ンタースタッフ会議
- 18 (金) 平成24年度第9回総合情報セ  
ンター専門委員会  
富士通連絡会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 21 (月) 平成24年度第2回総合情報セ  
ンター会議(メール審議)

### 2月

- 8 (金) 平成24年度第10回総合情報  
センタースタッフ会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 15 (金) 平成24年度第10回総合情報  
センター専門委員会

富士通連絡会議

### 3月

- 8 (金) 平成24年度第11回総合情報  
センタースタッフ会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 12 (火) 平成24年度第2回図書館・情報  
機構会議
- 15 (金) 平成24年度第11回総合情報  
センター専門委員会  
富士通連絡会議  
総合情報センター玄関自動ドア  
取替工事および学生オープンスペ  
ース2改修工事完成
- 22 (金) 四国情報通信懇談会ICT研究  
交流フォーラム『ネットワーク仮想  
化の技術勉強会』(香川大学)(主  
催:四国情報通信懇談会ICT研究  
交流フォーラム、共催:香川大学総  
合情報センター)
- 24 (日) 卒業式

### 4月

- 4 (木) 入学式
- 12 (金) 平成25年度第1回総合情報セ  
ンタースタッフ会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 19 (金) 平成25年度第1回総合情報セ  
ンター専門委員会  
富士通連絡会議
- 25 (木) 平成25年度第1回総合情報セ  
ンター会議(メール審議)

### 5月

- 9 (木) 電子情報通信学会ソフトウェア

- サイエンス研究会（香川大学）（主催：電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ ソフトウェア研究会、共催：香川大学工学部・総合情報センター）（10日まで）
- 10（金） 平成25年度第2回総合情報センタースタッフ会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 17（金） 平成25年度第2回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議
- 6月
- 1（土） 第8回セキュリティうどん(かまたま)（香川大学）（主催：Zou 団、共催：香川大学総合情報センター）
- 14（金） 平成25年度第3回総合情報センタースタッフ会議  
平成25年度情報処理学会四国支部報告会記念講演会（香川大学）（主催：情報処理学会四国支部、共催：香川大学工学部・総合情報センター）
- 20（木） 平成25年度第2回総合情報センター会議
- 21（金） 平成25年度第3回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議
- 7月
- 12（金） 平成25年度第4回総合情報センタースタッフ会議
- 19（金） 平成25年度第4回総合情報センター専門委員会
- 富士通連絡会議
- JaSST'13 Shikoku ソフトウェアテストシンポジウム 2013 四国（香川大学）（主催：特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）・JaSST'13 Shikoku 実行委員会、共催：香川大学工学部・総合情報センター）
- 8月
- 7（水） サイエンティフィック・システム研究会ーいま大学情報系センターのありかたを問うー（富士通(株) 本社）
- 12（月） 夏季一斉休業（16日まで）
- 9月
- 9（月） 第17回学術情報処理研究集会（千葉大学）
- 10（火） 第10回国立大学法人情報系センター協議会総会（千葉大学）  
第8回国立大学法人情報系センター集会（千葉大学）
- 13（金） 平成25年度第5回総合情報センタースタッフ会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 20（金） 平成25年度第5回総合情報センター専門委員会  
富士通連絡会議
- 10月
- 11（金） 平成25年度第6回総合情報センタースタッフ会議  
ネットワークシステムズ連絡会議
- 18（金） 平成25年度第6回総合情報センター

	ンター専門委員会 富士通連絡会議		大学の情報化に関する FD・SD
20 (日)	SECCON2013 四国大会 (CTF 香川予選) (香川大学) (主催: SECCON 実行委員会、共催: 香川大学総合情報センター)	17 (金)	IPv6 早わかりセミナー (高松センタービル) (主催: 株式会社インテック (総務省事業 請負業者))
21 (月)	SINET ノード担当者会議 (国立情報学研究所)	24 (金)	平成25年度第9回総合情報センター専門委員会 富士通連絡会議
24 (木)	平成25年度国立大学法人等情報化発表会 (京都大学) (25日まで)	<b>2月</b>	
		14 (金)	平成25年度第10回総合情報センタースタッフ会議
<b>11月</b>		21 (金)	平成25年度第10回総合情報センター専門委員会 富士通連絡会議
8 (金)	平成25年度第7回総合情報センタースタッフ会議		
15 (金)	平成25年度第7回総合情報センター専門委員会 富士通連絡会議	<b>3月</b>	
28 (木)	PCルーム4床改修工事完成	14 (金)	平成25年度第11回総合情報センタースタッフ会議
		24 (月)	卒業式
<b>12月</b>		28 (金)	平成25年度第11回総合情報センター専門委員会 富士通連絡会議
13 (金)	平成25年度第8回総合情報センタースタッフ会議	29 (土)	第9回セキュリティうどん (かまたま) (香川大学) (主催: Zou 団、共催: 香川大学総合情報センター)
21 (金)	平成25年度第8回総合情報センター専門委員会 富士通連絡会議	31 (月)	平成25年度 e-learning と著作権の基礎 スキルアップ研修会 (主催: 大学連携 e-learning 教育支援センター四国、共催: 香川大学工学部・総合情報センター)
28 (土)	年末年始休業 (1月5日まで)		
<b>平成26年 (2014年)</b>			
<b>1月</b>			
10 (金)	平成25年度第9回総合情報センタースタッフ会議 ネットワークシステムズ連絡会議		



## センター関係会議委員・スタッフ一覧

(平成26年7月1日現在)

### ○総合情報センター会議

最 所 圭 三	総合情報センター長 (併)
今 井 慈 郎	教 授 (総合情報センター)
林 敏 浩	教 授 (総合情報センター)
堀 幸 雄	助 教 (総合情報センター)
黒 田 勉	准教授 (教育学部)
井 上 正 也	准教授 (法学部)
天 谷 研 一	准教授 (経済学部)
大 西 平	准教授 (医学部)
吉 田 秀 典	教 授 (工学部)
櫻 庭 春 彦	教 授 (農学部)
関 庚 炫	准教授 (大学院地域マネジメント研究科)
溝 淵 彰	准教授 (大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科)
鎌 野 寛	教 授 (保健管理センター)
横 井 英 人	教 授 (医学部附属病院)
西 川 暢 一	学術部長

### ○総合情報センター専門委員会

最 所 圭 三	総合情報センター長 (併)
今 井 慈 郎	教 授 (総合情報センター)
林 敏 浩	教 授 (総合情報センター)
八重樫 理 人	准教授 (総合情報センター) (併)
堀 幸 雄	助 教 (総合情報センター)
黒 田 勉	准教授 (教育学部)
青 木 高 明	准教授 (教育学部)
井 上 正 也	准教授 (法学部)
天 谷 研 一	准教授 (経済学部)
岡 田 宏 基	教 授 (医学部)
香 川 考 司	准教授 (工学部)
安 藤 一 秋	准教授 (工学部)
田 中 直 孝	准教授 (農学部)
最 上 英 明	教 授 (大学教育開発センター)

村 井 礼	教 授 (大学連携 e-Learning 教育支援センター四国)
岩 城 暁 大	助 教 (大学連携 e-Learning 教育支援センター四国)
福 家 隆	リーダー (学術室情報グループ)

#### ○総合情報センタースタッフ

最 所 圭 三	センター長 (併)
今 井 慈 郎	教 授
林 敏 浩	教 授
八重樫 理 人	准教授 (併)
堀 幸 雄	助 教
高 橋 岳 水	技術専門職員 (併)
土 居 敬 典	技術職員 (併)
植 田 めぐみ	パートタイム職員 (事務)
金 山 ま い	パートタイム職員 (技術)
裏 和 宏	パートタイム職員 (技術)
久 保 まゆみ	パートタイム職員 (事務)
太 田 芽 衣	パートタイム職員 (事務)
福 家 隆	情報グループリーダー
近 藤 まゆみ	情報グループサブリーダー
瀬 野 芳 孝	情報グループチーフ
曾 根 計 俊	情報グループチーフ
六 車 建	情報グループチーフ
川 口 政 秀	情報グループチーフ
山 下 俊 昭	情報グループグループ員
岡 本 裕 之	情報グループグループ員
前 田 由 佳	情報グループグループ員
末 廣 紀 史	情報グループグループ員
末 光 京 子	パートタイム職員 (事務)
青 木 有 香	パートタイム職員 (事務)

渡 部 周 平 (6月1日付 愛媛大学に移籍)

横 山 美 保 (7月1日付 医学部に異動)



# 資料



## 香川大学総合情報センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人香川大学組織規則第18条第2項の規定に基づき、香川大学総合情報センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、香川大学（以下「本学」という。）における情報化推進並びに情報基盤システムを含む情報システム（以下「情報システム」という。）の整備、管理・運営、支援を行い、教育研究及び大学の運営に資するとともに、情報システム及び情報通信技術の応用に関する教育と研究を行い、その発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 情報化の方針策定に関すること
- (2) 情報システム及び情報通信技術の調査・研究・利用支援に関すること
- (3) 情報システム及び情報通信技術並びに情報セキュリティ等の教育及び啓発に関すること
- (4) 情報通信技術を活用した教育および教材開発に関すること。
- (5) 全学に係る情報システムの構築及び管理運用に関すること。
- (6) 国立情報学研究所等の学外情報ネットワークとの連携に関すること。
- (7) 情報システムの点検・評価に関すること
- (8) 総合情報センターの事務に関すること
- (9) その他情報化推進に関すること。

(組織)

第4条 センターは、前条の業務を遂行するために、次の各号に掲げる部門を置く。

- (1) 情報化推進部門
  - (2) システムサービス部門
- (分室)

第5条 センターは、三木町医学部キャンパス、林町キャンパス及び三木町農学部キャンパスに、それぞれ分室を置く。

2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(構成員)

第6条 センターは、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) センター担当教員
- (3) その他必要な者

2 センターの各部門に部門長を置くことができる。

(センター長)

第7条 センター長の任命は、学長が指名する理事又は副学長の推薦に基づき、本学専任教員の中から、学長が行う。

2 センター長は、センターの業務を統括する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、当該センター長を任命する学長の任期の末日以前でなければならない。

4 前項の規定にかかわらず、センター長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター長の選考時期)

第8条 センター長の選考は、次の各号の1に該当する場合に行う。

- (1) 任期が満了するとき。
- (2) 辞任を申し出たとき。
- (3) 欠員となったとき。

2 センター長の選考は、前項第 1 号の場合には、任期満了の 1 月以前に、同項第 2 号又は第 3 号の場合には、速やかに行うものとする。  
(部門長)

第 9 条 第 6 条第 2 項に基づき各部門に部門長を置くときは、センター長の推薦に基づき、学長が指名する理事又は副学長が任命する。

2 部門長は、部門の業務を統括する。

3 部門長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部門長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター担当教員)

第 10 条 センター担当教員は、本学専任教員のうちから学長が任命する。

(客員教授)

第 11 条 センターに客員教授及び客員准教授(以下「客員教授等」という。)を置くことができる。

2 客員教授等の称号付与は、センター長の申出に基づき、学長が行う。

3 前項の申出は、センターが選考した候補者を推薦することにより行う。

4 客員教授等は、第 6 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に掲げる構成員を兼務することができる。

(事務)

第 12 条 センターの事務は、センターが関係する学部事務課の協力を得て、総合情報センター及び学術室情報グループにおいて処理する。

(雑則)

第 13 条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行より、香川大学総合情報基盤センター規則(平成 16 年 4 月 1 日制定)は、廃止する。

3 この規程の施行の際、現にセンター長である者の任期は、第 7 条第 3 項及び第 4 項の規定にかかわらず、平成 19 年 9 月 30 日までとする。

附 則(平成 20 年 3 月 1 日)

この規程は、平成 20 年 3 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 4 月 1 日)

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 6 月 22 日)

この規程は、平成 21 年 6 月 22 日から施行し、平成 21 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 22 年 4 月 1 日)

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 4 月 1 日)

1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行の際、現にセンター長である者の任期は、第 7 条第 3 項及び第 4 項の規定にかかわらず、平成 25 年 9 月 30 日までとする。

3 この規程の施行の際、現に部門長である者の任期は、第 9 条第 3 項の規定にかかわらず、平成 25 年 9 月 30 日までとする。

## 香川大学総合情報センター会議規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学組織運営規則第12条の2第2項の規定に基づき、香川大学総合情報センター会議（以下「センター会議」という。）に関し必要な事項を定める。

(任務)

第2条 センター会議は、総合情報センター（以下「センター」という。）の円滑な運営を図るため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの業務に関する事項
- (2) センター長が必要とする事項

(組織)

第3条 センター会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 香川大学総合情報センター規程第9条の規定による部門長
- (3) センター担当教員
- (4) 各学部から選出された教員各1人
- (5) 地域マネジメント研究科及び香川大学・愛媛大学連合法務研究科から選出された教員各1人
- (6) 保健管理センターから選出された教員1人
- (7) 医学部附属病院から選出された教員1人
- (8) 学術部長

2 前項第4号から第7号までの委員は、学長が任命する。

3 第1項第4号から第7号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 第1項第4号から第7号までの委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長)

第4条 センター会議に議長を置き、センター長をもって充てる。

2 議長は、センター会議を招集し、主宰する。

3 議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名した委員が、その職務を代行する。

(議事)

第5条 センター会議は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 センター会議は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め説明又は意見を聴取することができる。

(専門委員会)

第7条 センター会議にセンターの業務に関する専門の事項を調査検討するため、専門委員会を置く。

2 専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 センター会議の事務は、学術室情報グループにおいて処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センター会議に関し必要な事項は、センター会議が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 この規程の施行により、香川大学総合情報基盤センター運営委員会規則（平成16年4月1日制定）及び香川大学情報評価分析セン



ター規則（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

3 この規程の施行の際、現に委員である者の任期は、第3条第3項及び第4項の規定にか

かわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

## 香川大学総合情報センター利用規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学総合情報センター規程第13条の規定に基づき、香川大学総合情報センター（以下「センター」という。）及びセンターが管理する教育研究支援システム（以下「センターシステム」という。）の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用者)

第2条 センター及びセンターシステムを利用することのできる者は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 香川大学（以下「本学」という。）の常勤及び非常勤の職員のうち職員番号が付与されている者
- (2) 本学の学生（研究生等を含む。以下同じ。）
- (3) その他総合情報センター長（以下「センター長」という。）が適当と認める者

(利用の申込)

第3条 前条第3号の利用者は、所定の事項を記入したセンター利用登録申請書（様式第1号）をセンター長に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 センター長は、前条第1号及び第2号の利用者並びに前項の承認をした利用者、センターシステム利用者ID（以下「利用者ID」という。）を交付するものとする。
- 3 利用者IDの有効期限は、在籍期間とする。ただし、前条第3号の利用者IDの有効期限は1年以内とし、当該年度を超えることができない。

(変更の承認)

第4条 センターシステムの利用を承認された者（以下「利用者」という。）は、利用登録

の内容について変更が生じた場合には、速やかにセンター長に届け出なければならない。

(利用時間)

第5条 センターの開館日は、以下に掲げる日を除く平日とする。ただし、センター長が開館を必要と認めた場合については、この限りではない。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで
- (3) その他センター長が開館を必要と認めた日

2 センター施設の利用時間は、センター長が別に定める。

3 前項の規定にかかわらず、センターシステム等に障害が発生した場合又は保守作業を行う場合は、利用を中止し、又は停止することがある。

(不正使用の禁止)

第6条 利用者は、自己の利用者IDを他の者に使用させてはならない。他の者に使用させて生じた事故の責めは、本人が負わなければならない。

(利用の報告)

第7条 センター長は、必要に応じて利用者に対して、利用状況の経過等について報告を求めることができる。

(損害賠償)

第8条 利用者は、故意又は重大な過失により、その使用に係る物品を損傷したときは、その損害を弁償する責めを負わなければならない。

(利用の取り消し等)

第9条 利用者がこの規程に違反し、又はセンターの運営に重大な支障を生じせしめたときは、センター長はその利用の承認を取り消し、又はその利用を一定期間停止させることがで

きる。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、センター及びセンターシステムの利用に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行

する。

2 この規程の施行より、香川大学総合情報基盤センター利用規程（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成25年6月1日から施行する。

(様式第1号)

# 香川大学総合情報センター利用登録申請書

平成 年 月 日

香川大学総合情報センター長 殿

申請区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 取消	利用目的	<input type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
申請者	所属			職名	
	フリガナ			連絡先	電話: - (内線 )
	氏名	印			Email:
登録者	<input type="checkbox"/> 一括登録	登録者データ	別添のとおり		
	<input type="checkbox"/> 個別登録	所属		職名	
		フリガナ		登録希望	
		氏名		ID	
	連絡先	電話: - (内線 )	Email:		
利用期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで				
備考					

(以下は記入しないでください。)

受付年月日	平成 年 月 日	整理番号	第 号
利用者ID		パスワード	
有効期限	平成 年 月 日		

上記の申請を承認します。

平成 年 月 日

香川大学総合情報センター長

(注) 一括登録用の登録者データは、必要項目がそろっていれば、電子ファイルでも受け付けます。

ご提供いただく個人情報につきましては、総合情報センター機器の利用登録に利用することを目的としてご提供いただき、この目的の範囲内での利用に限定いたします。  
個人情報をご提供いただく際に明示した目的の範囲を越えて個人情報を利用する必要がある場合には、事前にその目的をご連絡いたします。



## 香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人香川大学（以下「大学法人」という。）キャンパス情報ネットワーク（以下「学内ネットワーク」という。）の管理運営について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則における用語の意義は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 「部局」とは、教育学部（附属教育研究施設及び附属学校を含む。）、法学部、経済学部、医学部、工学部、農学部（附属教育研究施設を含む。）、香川大学・愛媛大学連合法務研究科、地域マネジメント研究科、図書館、博物館、医学部附属病院、総合情報センター（以下「センター」という。）及び法人本部をいう。この場合において、センター以外の学内共同教育研究施設等（以下「施設等」という。）については、施設等の設置場所が幸町キャンパスにあつては法人本部、三木町医学部キャンパスにあつては医学部、林町キャンパスにあつては工学部、三木町農学部キャンパスにあつては農学部の部局に含める。
- (2) 「部局長」とは、前号に規定する部局長をいう。
- (3) 「ネットワーク」とは、コンピュータ、端末装置等を相互に接続するための通信ケーブル及び接続用機器をいう。
- (4) 「学内ネットワーク」とは、基幹ネットワークと支線ネットワークで構成されたものをいう。
- (5) 「基幹ネットワーク」とは、キャン

パス間並びにキャンパス内における部局間及び建物間を結ぶネットワークをいう。

- (6) 「支線ネットワーク」とは、基幹ネットワークの接続機器に接続される建物内のネットワークをいう。

(区分)

第3条 学内ネットワークは機能上、教育研究用ネットワーク、診療用ネットワーク及び事務用ネットワークに区分するものとする。

(管理責任等)

第4条 学内ネットワークを管理運営するため、総括責任者を置き、総合情報センター長（以下「センター長」という。）をもって充てる。

2 基幹ネットワークは、センターにおいて管理運用し、その管理者はセンター長をもって充てる。

3 支線ネットワークのうち、教育研究用ネットワークは、該当部局において管理運用し、その管理者は当該部局長（以下「部局管理者」という。）をもって充てる。

4 支線ネットワークのうち、診療用ネットワークは、医学部附属病院において管理運用し、部局管理者は医学部附属病院長をもって充てる。

5 支線ネットワークのうち、事務用ネットワークは、学術室において管理運用し、その管理者は学術部長をもって充てる。

6 複数部局により一体として運用する支線ネットワークにおいては、関係部局の協議により、当該支線ネットワーク共通の担当者置くことができる。

(利用者の資格)

第5条 学内ネットワークに接続することができる者は、次の各号の1に掲げる者とする。

- (1) 大学法人職員
  - (2) 部局管理者が許可した者
  - (3) その他センター長が適当と認めた者
- (利用の範囲)

第6条 学内ネットワークは、教育研究用、診療用及び事務用以外の目的で利用してはならない。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、学内ネットワークの運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行す

る。

附 則 (平成17年6月23日)

この規則は、平成17年6月23日から施行し、平成17年6月1日から適用する。

附 則 (平成20年4月1日)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年6月22日)

この規程は、平成21年6月22日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則 (平成25年4月1日)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

## 香川大学キャンパス情報ネットワーク運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則第7条の規定に基づき、学内ネットワークの運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学内ネットワークの管理運用)

第2条 総合情報センター（以下「センター」という。）は、香川大学総合情報センター会議（以下「センター会議」という。）の策定する運営方針に従い、学内ネットワークの管理運用に関し、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 基幹ネットワークの良好な動作状態の維持
- (2) 基幹ネットワークと支線ネットワークの接続に関する技術的指導及び支援
- (3) 学内ネットワークに接続する機器のドメイン名及びIPアドレス空間の管理
- (4) 学外ネットワークとの接続に関する業務
- (5) ネットワーク機器及びその接続形態に関しての各部局に対する技術的支援
- (6) その他センター会議から付託された業務

2 センターは、前項第3号に掲げる機器のドメイン名及びIPアドレスを割り当てる場合、当該部局と協議するものとする。

3 基幹ネットワークを構成する機器は、センター長の許可なく改修等を行ってはならない。

4 教育研究用ネットワークにおける支線ネットワーク上のコンピュータ等を他部局の管理する支線ネットワークに接続する場合は、当該部局間で協議するものとする。

(教育研究用ネットワークの管理運用)

第3条 支線ネットワークのうち、教育研究用

ネットワークの管理運用は、センター会議の策定する運営方針に従い、当該部局において次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教育研究用ネットワーク利用諸手続
- (2) 教育研究用ネットワークの良好な動作状態の維持及び管理
- (3) その他教育研究用ネットワークの管理運用に関し必要な事項

2 教育研究用ネットワークの管理運用業務を補佐するため、部局担当者（技術・事務）を置き、部局管理者が指名するものとする。

3 この細則に定めるもののほか、教育研究用ネットワークの取扱いについては、別に定める。

(診療用ネットワークの管理運用)

第4条 支線ネットワークのうち、診療用ネットワークの管理運用は、センター会議の策定する運営方針に従い、医学部附属病院において次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 診療用ネットワーク利用諸手続
- (2) 診療用ネットワークの良好な動作状態の維持及び管理
- (3) その他診療用ネットワークの管理運用に関し必要な事項

2 診療用ネットワークの管理運用業務を補佐するため、部局担当者（技術・事務）を置き、部局管理者（医学部附属病院長）が指名するものとする。

3 この細則に定めるもののほか、診療用ネットワークの取扱いについては、別に定める。

(事務用ネットワークの管理運用)

第5条 支線ネットワークのうち、事務用ネットワークの管理運用は、センター会議の策定する運営方針に従い、学術室において次の各号に掲げる業務を行う。



- (1) 事務用ネットワーク利用諸手続
- (2) 事務用ネットワークの良好な動作状態の維持及び管理
- (3) その他事務用ネットワークの管理運用に関し必要な事項

2 この細則に定めるもののほか、事務用ネットワークの取扱いについては、別に定める。

(基幹ネットワークへの接続)

第6条 基幹ネットワークに支線ネットワークを接続しようとする者は、当該部局管理者に申し出るものとする。

2 部局管理者は、前項の申し出を受け、これを必要と認める場合は、センター長に申請し、相互接続の承認を得て必要な事項の割当を受けるものとする。

3 接続に係わる経費については、支線ネットワーク接続者が負担するものとする。

(教育研究用ネットワークへの接続)

第7条 支線ネットワークのうち、教育研究用ネットワークに機器を接続しようとする者(以下「申請者」という。)は、当該部局管理者に所定の申請書を提出するものとする。

2 所属部局と異なる部局の支線ネットワークに機器を接続しようとするときは、所属部局管理者を経て、接続しようとする支線ネットワークの部局管理者に所定の申請書を提出するものとする。

3 部局管理者は、第1項及び前項に基づく申請が適当であると認めたときは、アドレス番号を付して許可するものとする。

4 部局管理者は、前項の許可をしたときは、センター長に速やかに報告するものとする。

5 教育研究用ネットワークに機器を接続した者が、その利用を取り止める場合は、所属部局の部局管理者又は接続しているネットワークの部局管理者に届け出るものとする。

6 部局管理者は、前項の届け出があったときは、センター長に速やかに報告するものとする。

る。

7 接続及び廃止に係わる経費については、申請者が負担するものとする。

(学内ネットワークの変更)

第8条 基幹ネットワークの変更、支線ネットワークと基幹ネットワーク接続機器との接続形態の重要な変更及び新しいプロトコルの使用は、センター会議で審議する。

2 部局において教育研究用ネットワーク、診療用ネットワーク又は事務用ネットワークを変更しようとするときは、あらかじめセンター長と協議しなければならない。

(支線ネットワーク内の変更)

第9条 支線ネットワーク内部において、基幹ネットワークの運用に影響を及ぼすような変更を行おうとする者は、事前に部局管理者に申し出るものとする。

2 部局管理者は、前項の申し出を受けた場合、センター長と連絡協議の上、必要と認めたときは、これを承認する。

(学内ネットワークの運用を担当する者の遵守事項)

第10条 センター長、センター職員、部局管理者及び部局担当者は、学内ネットワークを利用する通信の秘密を侵してはならない。

(ネットワーク利用者の責任)

第11条 ネットワーク利用者(以下「利用者」という。)は、部局管理者に許可されたIPアドレス以外のアドレスを用いたネットワーク機器を接続してはならない。

2 利用者は、学内ネットワークの円滑な運営を妨げないように、良識をもって利用しなければならない。

3 利用者の故意又は重大な過失により、ネットワークに障害が生じた場合は、責任を負わなければならない。

(接続許可の取消し及び利用の制限)

第12条 センター長又は部局管理者は、利用

者がこの細則その他関連する規則等に違反したと判断したときは、そのコンピュータ等の接続許可の取消し又は利用を制限することができる。

2 センター長、部局管理者及び部局担当者は、協議の上、必要に応じて利用者の利用状況を調査することができる。

(維持に関する経費)

第13条 基幹ネットワークの維持に要する経費については、センター会議の定めるところによる。

2 支線ネットワークの維持に要する経費は、原則として当該部局で負担するものとする。

(損害の補償)

第14条 利用者が学内ネットワークの利用に

より被った損害は、その原因にかかわらず補償されない。

(雑則)

第15条 この細則に定めるもののほか、学内ネットワークの運営に関し必要な事項は、センター会議が定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年6月1日)

この細則は、平成17年6月1日から施行する。

附 則 (平成20年4月1日)

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

## 香川大学総合情報センター専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学総合情報センター会議規程第7条第2項の規定に基づき、香川大学総合情報センター専門委員会（以下「専門委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、香川大学総合情報センター（以下「センター」という。）に関し、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの電子計算機システムの運用に関すること。
- (2) キャンパス情報ネットワークの運用に関すること。
- (3) その他センターが行うサービス業務に関すること。

(組織)

第3条 専門委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
  - (2) センター担当教員
  - (3) 各学部から選出された教員各1人
  - (4) 大学教育開発センターから選出された教員1人
  - (5) 学術室情報グループから選出された者1人
  - (6) その他センター長が必要と認めた者
- 2 前項第3号、第4号の委員は、それぞれの部局等の長の推薦に基づき、学長が任命する。
- 3 第1項第5号の委員は、所属グループリーダーの推薦に基づき、学長が任命する。
- 4 第1項第3号から第5号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委

員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 専門委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第5条 専門委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第6条 専門委員会の事務は、学術室情報グループにおいて処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、専門委員会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年7月3日から施行する。

2 この規程の施行により、香川大学情報基盤運営専門委員会規程（平成17年3月1日制定）は廃止する。

3 この規程の施行後、最初に任命される第3条第1項第3号から第5号の者の任期は、同条第4項の規定にかかわらず、平成21年3月31日までとする。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

## 編集後記

今回のご紹介事案において、目玉となる項目が、「誕生ヘルプデスク」と「大きく変わるウイルス対策環境」と言えます。この二つの項目について、再度、編集後記として取り上げ、関係各位の努力への感謝の意を表したいと思います。

ヘルプデスクの誕生は、少し難産でした。発案自体は、数年前からになります。総合情報センターの新サービスとして、必要だとの号令の下、地元企業や周辺大学まで視察にお邪魔し、調査を進めつつも、当時の担当者の怠慢（って、自身のことを暴露するのは少々辛いですが）もあって、小田原評定を続けて参りました。しかし、他大学での実施経験者の加入や現在の担当者の勇気ある決断（「蛮勇」とは違いますが）で、スタートを切ることができました。詳細は今回の報告を再度ご高覧いただきたいと思います。ようやく船出した「ヘルプデスク」へのご期待に少しでも沿い続けることができるよう頑張りますとの所信表明の意味もあって、その誕生秘話の一端を披露させていただきました。

全学のウイルス対策ソフトが一部の方のユーザ負担から、全学ユーザを対象とするアカデミックライセンス取得および学生さん・教職員へのサービス提供へと大きく舵を切ったのはご存じの通りです。旧体制では、ユーザ負担の方式が、歴史的経緯（少し大袈裟ですが）のためもあって少し不自然な流れがあったことは事実です。また、旧体制時のウイルス対策ソフト自体は著名なウイルス対策ソフトのメーカーからの提供でしたが、当該製品の質よりはサービス体制に、もしかしたら「強者の奢り」の雰囲気があった可能性があります。その意味で、旧体制時からのユーザの一部の先生方には当総合情報センターの支援体制にご不満があったのではないかと危惧致しております。幸い、新進気鋭スタッフの強靱な支援がジャンプ台となって、K点越えを叶え（困難を乗り越えて）、新体制におけるフォスアンチウイルスソフトの包括契約を実現し、全学ユーザへのサービス提供をスタートさせることができました。これもヘルプデスクと同様、当センターの歴史を飾る一コマになったことを明記させていただきたいと思います。

「案ずるより産むが易し」とは、時に耳にする諺ですが、今回ご紹介した二つの項目はまさにこの諺を実感させる事案でした。ヘルプデスクは、アード・コーダとずるずると小田原評定を続けている時と比べて、船出後の順調さは、学内ニーズ（実は卒業生や他大学の方からもご利用いただきましたが）への対応が一步ずつですが、進んでいることを示しています。もちろん、まだ成長過程ですが、叱咤激励いただくことで伸びしろ未知数の有望株になっています。また、体制の変化が大きな懸念だったウイルス対策ソフトの問題は、縁の下の方の力持ちの努力と共に、ユーザ各位のご支援で新体制での再出発が不安を少しづつ払拭し、新たにスマートフォンなど多種多様な実行環境にも適合した新サービス実施を進めることができました。もちろん、学内ユーザ各位のご支援とご要望が当センターにとっても背中を押してくださる大きな力であることも再認識することができました。

編集後記を終えるにあたって、マイクロソフト包括契約についても一言付記させてくだ

さい。これからのサービスなので、まだ「案じている」状態を脱し切れていません。しかし、ソフトウェア利用やそのライセンス方式の流れは、確実に「環境型」「クラウド型」へその歩みを進めています。しかし本学においては、まだ「産むが易し」との状況には至っていないことも事実です。学内ユーザ各位には、「マイクロソフト包括契約の果実」を賢くご利用いただくための仕組みを含めて、総合情報センターの役割を認識しておりますので、今後ともご理解とご支援をお願い致します。

今井・瀬野

年報 第10号

平成26年7月発行

編集・発行 香川大学総合情報センター

〒760-8523 高松市幸町2番1号

TEL 087-832-1292

FAX 087-832-1293